

7-5 スクリーニング、スコーピングの結果

事前調査におけるスクリーニング、スコーピングに当たっては、通常は対象地域の環境関係の担当者と合同でスクリーニング、スコーピングを行う。しかしながら、今回は、スクリーニング、スコーピングの対象地域が3カ所であり、それぞれのカウンターパートの専門分野が異なっていた。従って、今回は、現地におけるヒヤリングと、FONATURの環境に関するガイドライン「環境利用および保全に関する組織的戦略」に従いスクリーニング、スコーピングを行った。

(1) スクリーニング結果

(1) カンクン

| 環境項目 | | 内容 | 評定 | 備考(根拠) | |
|--------------------------------------|----|---------|---------------------------|--------|---|
| 社会環境 | 1 | 住民移転 | 用地占有に伴う移転(居住権、土地所有権の転換) | 有 | 市街地の区画整理など、一部住民の移転が必要となる。 |
| | 2 | 経済活動 | 土地などの生産機会の喪失、経済構造の変化 | 有 | もともと居住した漁民の生活基盤は大きく変化した。 |
| | 3 | 交通・生活施設 | 渋滞・事故など既存交通や学校・病院などへの影響 | 無 | |
| | 4 | 地域分断 | 交通の障害による地域社会の分断 | 無 | 都市開発に伴い、新たに開発された都市である。 |
| | 5 | 遺跡・文化財 | 寺院仏閣・環境文化財などの損失や価値の減少 | 有 | 周辺にマヤ文化の遺跡が多く存在する。 |
| | 6 | 水利権・入会権 | 漁業権、水利権、山林入会権などの障害 | 無 | 表層水はなく、地下水利用で水利権はない。 |
| | 7 | 保健衛生 | ゴミや衛生害虫の発生など衛生環境の悪化 | 不明 | |
| | 8 | 廃棄物 | 建設廃材・残土・汚泥、一般廃物などの発生 | 不明 | |
| | 9 | 災害(リスク) | 地盤崩壊・落盤・事故などの危険性の増大 | 無 | |
| 自然環境 | 10 | 地形・地質 | 掘削・盛土などによる価値のある地形・地震などの改変 | 有 | ラグーン全体をホテル用地として開発している。 |
| | 11 | 土壌侵食 | 土地造成・森林伐採後の雨水による表土流出 | 無 | |
| | 12 | 地下水 | 過剰取水などによる浸出水による汚染 | 不明 | 表層水はなく、水資源の全てを地下水に頼っている。水量は十分であるとされている。 |
| | 13 | 湖沼・河川状況 | 埋立や配水の流入による流量、川床の変化 | 有 | ラグーン内への排水は禁じられているが、水質は悪化している。 |
| | 14 | 海岸・海域 | 埋立や海況の変化による海岸侵食や | 有 | ラグーン内はマングローブが生えていたが、海岸線の利用は進んでいる。 |
| | 15 | 動植物 | 生息条件の変化による繁殖阻害、種の絶滅 | 有 | マングローブ林は、保護地区に指定されている。ウミガメの産卵が減少している。 |
| 公害 | 16 | 気象 | 大規模造成や建築物による気温・風況などの変化 | 無 | |
| | 17 | 景観 | 造成による地形変化、構造物による調和の阻害 | 有 | ラグーン周辺の景観は大きく変化した。 |
| | 18 | 大気汚染 | 車両や工場からの排ガス・有害ガスによる汚染 | 無 | |
| 公害 | 19 | 水質汚濁 | 観光施設からの排水の流入による汚染 | 有 | 排水規制は行われているが、ラグーン内の水質は悪化している。 |
| | 20 | 土壌汚染 | 排水、有害物質の浸出・拡散などによる汚染 | 無 | |
| | 21 | 騒音・振動 | 車両・航空機・工場などによる騒音・振動の発生 | 無 | |
| | 22 | 地盤沈下 | 地盤変状や地下水位低下に伴う地表面の沈下 | 無 | |
| | 23 | 悪臭 | 排気ガス・悪臭物質の発生 | 無 | |
| 総合評価: I E EあるいはE I Aの実施が必要となるプロジェクトか | | | 要 | | |

2) ロスカボス

| 環 境 項 目 | | 内 容 | 評定 | 備 考 (根拠) | |
|-------------------------------------|----|----------|---------------------------|----------|---|
| 社 会 環 境 | 1 | 住 民 移 転 | 用地占有に伴う移転 (居住権、土地所有権の転換) | 有 | 不要居住者がいる。 |
| | 2 | 経 済 活 動 | 土地などの生産協会の喪失、経済構造の変化 | 有 | 観光に依存する住民が流入している。 |
| | 3 | 交通・生活施設 | 渋滞・事故など既存交通や学校・病院などへの影響 | 無 | |
| | 4 | 地 域 分 断 | 交通の障害による地域社会の分断 | 無 | |
| | 5 | 遺 跡・文化財 | 寺院仏閣・環境文化財などの損失や価値の減少 | 無 | |
| | 6 | 水利権・入会権 | 漁業権、水利権、山林入会権などの障害 | 無 | |
| | 7 | 保 健 衛 生 | ゴミや衛生害虫の発生など衛生環境の悪化 | 有 | 住民の増加に伴い、排水処理などの問題が生じている。 |
| | 8 | 廃 棄 物 | 建設廃材・残土・汚泥、一般廃物などの発生 | 無 | |
| | 9 | 災害 (リスク) | 地盤崩壊・落盤・事故などの危険性の増大 | 無 | |
| 自 然 環 境 | 10 | 地 形・地 質 | 掘削・盛土などによる価値のある地形・地質などの改変 | 有 | 広大なゴルフ場が作られ、大規模な地形の改変が行われている。 |
| | 11 | 土 壤 侵 食 | 土地造成・森林伐採後の雨水による表土流出 | 有 | 乾燥地帯で植生が少ない上に、土地が造成され、雨季の表土流失が起きやすくなっている。 |
| | 12 | 地 下 水 | 過剰湧水などによる湧出水による汚染 | 有 | 水資源は極めて限られている。 |
| | 13 | 湖沼・河川状況 | 埋立や配水の流入による流量、川床の変化 | 有 | 河川流量は年間を通じて少なく、河口は閉鎖している。水需要は増大している。 |
| | 14 | 海 岸・海 域 | 埋立や海況の変化による海岸侵食や | 有 | マリナーナ建設により、海岸線は大きく改変されている。 |
| | 15 | 動 植 物 | 生息条件の変化による繁殖阻害、種の絶滅 | 有 | 河口域の雄湖周辺には、特有の自然が残されている。 |
| | 16 | 気 象 | 大規模造成や建築物による気温・風況などの変化 | 無 | |
| 公 害 | 17 | 景 観 | 造成による地形変化、構造物による調和の阻害 | 有 | 乾燥地域の特有な自然が大きな変化を受けている。 |
| | 18 | 大 気 汚 染 | 車両や工場からの排ガス・有害ガスによる汚染 | 無 | |
| | 19 | 水 質 汚 濁 | 観光施設からの排水の流入による汚染 | 有 | 市街地の拡大による排水量が増加している。 |
| | 20 | 土 壌 汚 染 | 排水、有害物質の浸出・拡散などによる汚染 | 無 | |
| | 21 | 騒 音・振 動 | 車両・航空機・工場などによる騒音・振動の発生 | 無 | |
| | 22 | 地 盤 沈 下 | 地盤変状や地下水位低下に伴う地表面の沈下 | 無 | |
| | 23 | 悪 臭 | 排気ガス・悪臭物質の発生 | 無 | |
| 総合評価：I E EあるいはE I Aの実施が必要となるプロジェクトか | | | 要 | | |

3) アカブルコ

| 環境項目 | | 内容 | 評定 | 備考(根拠) | |
|----------------------------------|----|---------|--------------------------|--------|-----------------------------------|
| 社 会 環 境 | 1 | 住 民 移 転 | 用地占有に伴う移転(居住権、土地所有権の転換) | 有 | 市街地周辺部の不法居住者を移転する計画がある。 |
| | 2 | 経 済 活 動 | 土地などの生産機会の喪失、経済構造の変化 | 有 | 大規模開発に伴う、移転住民の生活変化。 |
| | 3 | 交通・生活施設 | 渋滞・事故など既存交通や学校・病院などへの影響 | 有 | 高速道による交通量増。新規高速道の計画。 |
| | 4 | 地 域 分 断 | 交通の障害による地域社会の分断 | 不明 | 新規高速道の計画。 |
| | 5 | 遺 跡・文化財 | 寺院仏閣・環境文化財などの損失や価値の減少 | 無 | |
| | 6 | 水利権・入会権 | 漁業権、水利権、山林入会権などの障害 | 有 | 海洋公園の計画などで、一部漁民が影響を受ける。 |
| | 7 | 保 健 衛 生 | ゴミや衛生害虫の発生など衛生環境の悪化 | 有 | 居住者の増加による衛生環境の悪化。 |
| | 8 | 廃 棄 物 | 建設廃材・残土・汚泥、一般廃物などの発生 | 有 | 道路建設による残土の投棄。 |
| | 9 | 災害(リスク) | 地盤崩壊・落盤・事故などの危険性の増大 | 有 | 市街地周辺部の急傾斜地に多くの居住者が住む。 |
| 自 然 環 境 | 10 | 地 形・地 質 | 掘削・盛土等による価値のある地形・地質などの改変 | 有 | ダイヤモンド岬の大規模リゾート開発。 |
| | 11 | 土 壌 侵 食 | 土地造成・森林伐採後の雨水による表土流出 | 有 | 道路建設に伴う、土地切盛による表土流失。 |
| | 12 | 地 下 水 | 過剰揚水などによる浸出水による汚染 | 有 | 揚水量と増加する給水計画。 |
| | 13 | 湖沼・河川状況 | 埋立や配水の流入による流量、川床の変化 | 有 | ラグーン(礁湖)のマリーナ開発。 |
| | 14 | 海 岸・海 域 | 埋立や海況の変化による海岸侵食や | 有 | マリーナ開発。 |
| | 15 | 動 植 物 | 生息条件の変化による繁殖阻害、種の絶滅 | 有 | ラグナ・ネグロ(礁湖)のマングローブ林の保護。 |
| | 16 | 気 象 | 大規模造成や建築物による気温・風況などの変化 | 無 | |
| 公 害 | 17 | 景 観 | 造成による地形変化、構造物による調和の阻害 | 有 | ダイヤモンド岬の大規模開発トレス・パロス・ラグーンのマリーナ開発。 |
| | 18 | 大 気 汚 染 | 車両や工場からの排ガス・有害ガスによる汚染 | 無 | |
| | 19 | 水 質 汚 濁 | 観光施設からの排水の流入による汚染 | 有 | 観光施設からの排水および、居住者の増加による排水の増加。 |
| | 20 | 土 壌 汚 染 | 排水、有害物質の浸出・拡散などによる汚染 | 有 | 住民移転先からの排水量増。 |
| | 21 | 騒 音・振 動 | 車両・航空機・工場などによる騒音・振動の発生 | 無 | |
| | 22 | 地 盤 沈 下 | 地盤変状や地下水水位低下に伴う地表面の沈下 | 不明 | 地下水の過剰揚水。 |
| | 23 | 悪 臭 | 排気ガス・悪臭物質の発生 | 不明 | 居住者増によるゴミ焼棄物の増加。 |
| 総合評価: IEEあるいはEIAの実施が必要となるプロジェクトか | | | 要 | | |

(2) スコーピング結果
1) カンクン

| 環境項目 | | 評価 | 根拠 | |
|------|----|---------|-----------------------|---|
| 社会環境 | 1 | 住民移転 | B | 本来の居住者（漁民）の移転は既に行われている。 |
| | 2 | 経済活動 | A | 地域開発という側面から見ると、もともとの住民の経済条件は、必ずしも向上してはいない。 |
| | 3 | 交通・生活施設 | D | |
| | 4 | 地域分断 | D | |
| | 5 | 遺跡・文化財 | A | マヤ文明の遺跡が多く存在するが、調査は必ずしも進んでいない。 |
| | 6 | 水利権・入会権 | D | |
| | 7 | 保健衛生 | C | 他の開発地と比較すれば、問題は少ないとされるが、開発が急激であり、問題が生じやすい条件にある。 |
| | 8 | 廃棄物 | C | 他の開発地と比較すれば、問題は少ないとされるが、開発が急激であり、問題が生じやすい条件にある。 |
| | 9 | 災害（リスク） | D | |
| 自然環境 | 10 | 地形・地質 | B | ラグーン全体の地形が大きく変わり、環境が変化している。 |
| | 11 | 土壌侵食 | D | |
| | 12 | 地下水 | C | 水資源の全てを地下水に依存している。現在は、十分な水量があるとされている。 |
| | 13 | 湖沼・河川状況 | A | ラグーン内への排水は禁じられているが、水質は悪化している。 |
| | 14 | 海岸・海域 | A | 海岸を利用するマリンリゾートが中心のリゾート地である海岸線の利用は進んでいる。 |
| | 15 | 動植物 | A | ラグーン周辺の、マングローブ林は保護対象となっている。ウミガメの産卵数が減少している。 |
| | 16 | 気象 | D | |
| 17 | 景観 | B | ラグーン周辺の景観は、大きく変化している。 | |
| 公害 | 18 | 大気汚染 | D | |
| | 19 | 水質汚濁 | A | 排水に対する規制は行われているが、ラグーン内の水質は悪化している。 |
| | 20 | 土壌汚染 | D | |
| | 21 | 騒音・振動 | D | |
| | 22 | 地盤沈下 | D | |
| | 23 | 悪臭 | D | |

(注1) 評価の区分

- A：重大なインパクトが見込まれる
- B：多少のインパクトが見込まれる
- C：不明（検討をする必要はあり、調査が進むにつれて明らかになる場合も十分に考慮に入れておくものとする）
- D：ほとんどインパクトは考えられないためI E EあるいはE L Aの対象としない

2) ロスカボス

| 環境項目 | | 評定 | 根 拠 | |
|------------------|-----|---------|-----------------------------|---------------------------------------|
| 社 会 環 境 | 1 | 住 民 移 転 | B | 観光開発に伴う、居住人口の増加。 |
| | 2 | 経 済 活 動 | B | 観光産業に依存する住民の増加。 |
| | 3 | 交通・生活施設 | D | |
| | 4 | 地 域 分 断 | D | |
| | 5 | 遺 跡・文化財 | D | |
| | 6 | 水利権・入会権 | D | |
| | 7 | 保 健 衛 生 | B | 住民の増加による排水処理の問題点。 |
| | 8 | 廃 棄 物 | D | |
| | 9 | 災害(リスク) | D | |
| 自 然 環 境 | 10 | 地 形・地 質 | B | 大規模なゴルフ場、ホテルなどに計画され建設されている。 |
| | 11 | 土 壤 侵 食 | B | 地形の改変、植生の少なさなどにより、雨季の表土流失が起きやすくなっている。 |
| | 12 | 地 下 水 | A | 水資源は限られ、地下水利用が主となっている。 |
| | 13 | 湖沼・河川状況 | A | 水資源が限られ、淡水域での環境上の問題が起きやすくなっている。 |
| | 14 | 海 岸・海 域 | A | マリーナの建設により、直接地形変化および周辺部が影響を受ける。 |
| | 15 | 動 植 物 | A | 河口域の礁湖、周辺の特有の自然が開発に伴う影響を受ける。 |
| | 16 | 気 象 | D | |
| 17 | 景 観 | B | 乾燥地域特有の自然が、開発に伴い、大きな影響を受ける。 | |
| 公 害 | 18 | 大 気 汚 染 | D | |
| | 19 | 水 質 汚 濁 | B | 市街地の拡大に伴う、排水量の増加。 |
| | 20 | 土 壤 汚 染 | D | |
| | 21 | 騒 音・振 動 | D | |
| | 22 | 地 盤 沈 下 | D | |
| | 23 | 悪 臭 | | |

(注1) 評定の区分

A：重大なインパクトが見込まれる

B：多少のインパクトが見込まれる

C：不明（検討をする必要はあり、調査が進むにつれて明らかになる場合も十分に考慮に入れておくものとする）

D：ほとんどインパクトは考えられないためIEEあるいはELAの対象としない

3) アカブルコ

| 環境項目 | | 評定 | 根 拠 | |
|------------------|----|-------------|-----|---|
| 社 会 環 境 | 1 | 住 民 移 転 | A | 市街地周辺部の不法居住者の移転計画。 |
| | 2 | 経 済 活 動 | A | 住民移転に伴う、生活環境の変化。 |
| | 3 | 交通・生活施設 | B | 高速道路の開通による、交通量変化。新規高速道の計画。 |
| | 4 | 地 域 分 断 | C | 高速道による影響。 |
| | 5 | 遺 跡 ・ 文 化 財 | D | |
| | 6 | 水利権・入会権 | B | 海洋公園等による漁民への影響。 |
| | 7 | 保 健 衛 生 | A | 居住者の急増に伴う、衛生環境の変化。 |
| | 8 | 廃 棄 物 | B | 道路建設による残土の投棄。 |
| | 9 | 災害(リスク) | A | 市街地周辺部の急傾斜地の危険地帯に多くの居住者がある。地震による災害が心配されている。 |
| 自 然 環 境 | 10 | 地 形 ・ 地 質 | A | ディアマンテ岬などの大規模リゾート開発。 |
| | 11 | 土 壤 侵 食 | A | ディアマンテ岬などの大規模リゾート開発。 |
| | 12 | 地 下 水 | B | 揚水量増加の計画がある。 |
| | 13 | 湖沼・河川状況 | A | ラグーン(礁湖)のマリーナ開発計画。 |
| | 14 | 海 岸 ・ 海 域 | A | 海岸部、河口域のマリーナ開発計画。 |
| | 15 | 動 植 物 | B | ラグナ・ネグロ(礁湖)のマングローブ、トレス・パロス・ラグーンの生物。 |
| | 16 | 気 象 | D | |
| 公 害 | 17 | 景 観 | A | ディアマンテ岬の大規模開発。トレス・パロス・ラグーンのマリーナ開発。 |
| | 18 | 大 気 汚 染 | D | |
| | 19 | 水 質 汚 濁 | A | 観光施設および居住者の増加によるアカブルコ湾トレス・パロス・ラグーンの水質汚濁。 |
| | 20 | 土 壤 汚 染 | B | 住民の移転先からの排水の増加。 |
| | 21 | 騒 音 ・ 振 動 | D | |
| | 22 | 地 盤 沈 下 | C | 地下水の過剰揚水。 |
| | 23 | 悪 臭 | C | 居住者の増加・施設の不備による、ゴミ、廃棄物量の増加。 |

(注1) 評定の区分

A: 重大なインパクトが見込まれる

B: 多少のインパクトが見込まれる

C: 不明(検討をする必要はあり、調査が進むにつれて明らかになる場合も十分に考慮に入れておくものとする)

(3) 総合評価

1) カンクン

| 環境項目 | 評価 | 今後の調査方針 | 備考 |
|---------|----|----------------------------------|----|
| 経済活動 | A | 観光開発と地域振興との整合性、開発に伴う社会資本整備の在り方など | |
| 遺跡・文化財 | A | 遺跡・文化財の分布、保存状態に係る調査 | |
| 湖沼・河川状況 | A | 水質汚濁と関連して、ラグーン内の環境モニタリングを行う | |
| 海岸・海域 | A | 最大の観光資源である海岸、海域の環境について現況および予測調査 | |
| 動植物 | A | ラグーン周辺のマングローブ等の現況調査およびモニタリング | |
| 水質汚濁 | A | ラグーン内の水質モニタリングおよび水質管理 | |
| 保健衛生 | C | 現況および予測調査 | |
| 廃棄物 | C | 現況および予測調査 | |
| 地下水 | C | 現況および予測調査 | |
| 住民移転 | B | 居住状況調査 | |
| 地形・地質 | B | 地形改変に伴う現況調査 | |
| 景観 | B | ラグーン周辺の景観の現況調査 | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

(注1) 評価の区分

A：重大なインパクトが見込まれる

B：多少のインパクトが見込まれる

C：不明（検討をする必要はあり、調査が進むにつれて明らかになる場合も十分に考慮に入れておくものとする）

D：ほとんどインパクトは考えられないためIEEあるいはEIAの対象としない。

2) ロスカボス

| 環境項目 | 評定 | 今後の調査方針 | 備考 |
|---------|----|-------------------|--------------------------|
| 地下水 | A | 湧水量の調査、モニタリング | |
| 湖沼・河川流況 | A | エステロ湖の自然環境調査 | |
| 海岸・海域 | A | マリーナ建設に伴う、環境調査 | (特に漂砂など、 海岸地形の変化について) |
| 動植物 | A | エステロ湖の動植物調査 | |
| 住民移転 | B | 居住状況調査 | |
| 経済活動 | B | 社会環境調査 | |
| 保健衛生 | B | 居住状況調査、排水、ゴミ発生量調査 | |
| 地形・地質 | B | 地形、地質現況調査 | |
| 土壌侵食 | B | 現況予測調査 | |
| 景観 | B | 現況予測調査 | |
| 水質汚濁 | B | 現況調査 | |
| | | | |

(注1) 評定の区分

A: 重大なインパクトが見込まれる

B: 多少のインパクトが見込まれる

C: 不明 (検討をする必要はあり、調査が進むにつれて明らかになる場合も十分に考慮に入れておくものとする)

D: ほとんどインパクトは考えられないため IEE あるいは EIA の対象としない。

3) アカブルコ

| 環境項目 | 評定 | 今後の調査方針 | 備考 |
|---------|----|-----------------------------------|----|
| 住民移転 | A | 居住状況調査 | |
| 経済活動 | A | 不法居住者の動態、生活条件など | |
| 保健衛生 | A | 居住地の生活状況調査ーゴミ、排水などの発生量調査 | |
| 災害(リスク) | A | 危険地帯への居住状況調査、災害(地震)時の被害予測 | |
| 地形・地質 | A | 地形、地質調査 | |
| 土壌侵食 | A | 土壌侵食の現況調査 | |
| 湖沼・河川流況 | A | トレス・パロス・ラグーン、ラグナ・ネグロ、ババガヨ川(特に河口域) | |
| 海岸・海域 | A | 自然環境調査(マリーナ建設による海流の変化など) | |
| 景観 | A | 景観調査、変化予測。 | |
| 水質汚染 | A | 現況調査、観光施設および居住者増による予測 | |
| 地域分断 | C | 居住状況調査 | |
| 地盤沈下 | C | 地下水の過剰揚水 | |
| 悪臭 | C | 居住状況、ゴミ、排水などの発生量調査 | |
| 交通、生活施設 | B | 交通量調査 | |
| 水利権、入会権 | B | 水利権、入会権、漁業権などの資料調査 | |
| 廃棄物 | B | 廃棄物の発生量、現況調査 | |
| 地下水 | B | 地下水の現況および予測 | |
| 動植物 | B | ラグーン内の動植物および自然環境の調査 | |
| 土壌汚染 | B | 現況調査予測 | |

(注1) 評定の区分

- A: 重大なインパクトが見込まれる
- B: 多少のインパクトが見込まれる
- C: 不明(検討をする必要はあり、調査が進むにつれて明らかになる場合も十分に考慮に入れておくものとする)
- D: ほとんどインパクトは考えられないため I E E あるいは E I A の対象としない。

7-6 本格調査における IEE・EIA 実施体制とスケジュール

(1) IEE・EIA 実施体制

IEE・EIA の実施にあたっては、環境アセスメント調査サービス提供登録されたローカルコンサルタントに委託して情報の収集、解析を行う。

なお、観光開発計画の策定にあたっては、全ての地点が海岸線、あるいは河川湖沼にかかわることから、最終的には環境庁の審査が必要となる。

(2) 実施スケジュール

本格調査においては、観光促進投資戦略策定の地点選定に先立ち、全ての地点について既存の資料をもとに環境条件の整理、分析を行う。

観光促進投資戦略策定の対象地区の選定が終了した段階で、その地区の環境条件のうち、特に観光開発により影響の生ずる可能性のある環境項目に関して、補足的調査、現地調査を行う。

7-7 ローカルコンサルタントなどの実施能力、委託経費、類似調査の実施

(1) ローカルコンサルタント

ローカルコンサルタントには環境アセスメント調査サービス提供者登録が義務づけられている。この登録は 1988 年に始められた制度で、法の定める所に従って環境アセスメント調査を行う専門的な能力と技術力を持ったコンサルタントの名簿を作成しようとするものである。連邦政府が担当する環境アセスメント評価の対象となる 21 の環境分野について、(環境庁) エコロジー計画局がその業務の一つとして、この登録の要件を定め、登録許可を行っている。

環境アセスメント調査サービス提供者登録は、エコロジー計画局に行けば誰でも閲覧できるようになっており、一般に公開されている。1994 年 6 月現在で登録されている個人専門家、企業、研究・教育機関は 261 に登っている。1988 年から 1994 年上半年期までに受け付けた新規登録、登録更新、専門分野拡大などは総計 1,226 件に登った。

(2) 現行の環境アセスメント手続き状況

社会や自然のプロセスは複雑であり、状況は常にダイナミックな変貌を遂げている。従って、これに適用される制度的手続きも、こうした現実から派生する様々な変化や課

題に順応するために常に変更を迫られている訳である。この意味を置いて、法規を満足させない者に対しては制裁を課すことを定めたエコロジー均衡環境保護法の公布と、活発な経済活動とがあいまって、環境アセスメント評価の需要は急激に高まってきた。このため、当局側の対応能力が限界に達し、組織上、実務上のさまざまな問題も加わって、評価に付すべく提出された多くのプロジェクトにつき、判定の下るのが非常に遅れることとなった。例えば1993年、1994年の2年間に評価対象となったアセスメント申告書の中、1,507件についてはまだ判定が下りていない。これは遅延率66.5%に相当する。

また、環境アセスメント申告書として提出される調査書が一般的に言ってレベルの低いものであることが多いことも問題を悪化させる一因となっている。不完全だったり、統一がとれていなかったり、正確さや客観性に欠ける情報を含んでいたりする調査報告書がしばしば提出される。この点が改善されれば、申告書の補足やその評価に現在ほど時間を費やさずに済むようになるであろう。

コンサルタントが行う環境アセスメント調査の品質管理不足、およびはっきりした責任者がいないこと（調査について責任を負う個人が明確に規定されていず、従って違反者を突き止め、これを道徳的、行政的に処罰することができないこと）も環境アセスメント申告書の評価作業の効率性を低めている。このようなことから、環境庁は申請者に対し、アセスメント申告書に、責任者の署名とその専門職免許番号の入った概要および責任書を添付するよう要請している。

この様な状況は環境アセスメント手続きのメカニズムを見直し、より効率的なものにする必要性を物語っている。これはメキシコ国が維持可能な発展を遂げるために最も重要な環境政策の予防的側面を強化するためにどうしても必要な措置である。このために、環境アセスメント手続きは個別の分野それぞれについて、長期に渡る改正の過程に入っており、すでに実施されているものもある。

環境規範局は石油公団 (PEMEX)、電力庁 (CFE)、Fonatur、漁業省 (Sepesca)、通信運輸省 (SCT) などの大口申請者に対しては意見打診、技術交換、優先プロジェクトの決定などのメカニズムを利用して、判定を出すまでの時間の短縮に努めている。PEMEX-探査会社、との間ではプロジェクト評価方法のシステム化を試みており、これが実現すればパイプラインの保全プロジェクトや油田の掘削、地震探査等の活動につき、より効果的に判定することができるようになるだろう。

現在規範局の生産性（担当者一人当たり判定したプロジェクト数）は増加している。

1993年1月-8月の一人当たり評価プロジェクト数は、1.9であったのに対し、1994年の同期の評価プロジェクト数は6.0であった。

判定が下るまでの時間の効率化は、さまざまな分野の専門家が参加した評価グループの組織と、環境庁、申請者、コンサルタントの間の責任分担によって行なわれる。また、「統一窓口」が申告書の受付から決定通知の手渡しまで、環境アセスメント評価の全過程について環境庁と申請者の連絡窓口となるところから、不必要な手続きを省くことができる。

地方分権、地方分散の努力を継続するため、タマウリバス州タンビコ市、グアナフアト州グアナフアト市、ユカタン州メリダ市、ナヤリット州ヌエボ・パヤルタ市の4箇所で環境アセスメントに関する研修コースを行って社会開発省の地方事務所や州政府の人員を研修した。これに加え、予防報告書および活動のタイプによって選択される環境アセスメント申告書の3つの形態を提出するためのマニュアルも作成されている。

補足-2

環境アセスメントサービス提供業者登録の専門分野

| | |
|--------|----------------------------------|
| 連邦公共事業 | 水産養殖場 |
| 製糖工場 | 石油化学工場 |
| 製鉄所 | 送油管 |
| 道路 | 自動車工場 |
| 送ガス管 | 連邦が専ら行う金属・非金属 物質の探査、採掘、処理、精製。 |
| 製紙工場 | 送炭管 |
| セメント工場 | 有害・放射線廃棄物の処理、隔離のための施設 |
| 化学工場 | 発電所、送電施設 |
| 飲料工場 | 連邦による観光開発 |
| 水利施設 | 灌漑調査 |

工事あるいは活動がこのリストに含まれていないばあいには、州または市町村の管轄となり、州法又は市町村例の規定に従う。

環境アセスメント手続き中改正される分野

- I. 現在の遅延の解消
 - II. 効率化による判定までの時間短縮
 - III. 申請者へのサービス改善
 - IV. 決定が遵守されていることの確認
 - V. 組織強化
 - IV. 地方分権、地方分散
-

(3) 類似調査などの状況

1) 1993年-1994年に環境アセスメントに関して取られた措置

1993年1月から1994年9月までには2,174件の申告書が受理され、そのうち852件について決定が出された。1,553件は評価中、137件は連邦の管轄外であったり、内容・形式に関する要件を満たしていなかったり、環境アセスメントに関する承認を必要としないと言う理由で手続き外とされた。(グラフ91) また、注目を引くのは環境アセスメント調査の数がその前の2年間(1991年-1992年)に評価されたプロジェクト数に比較して66.9%と大幅に増加していることである。(1991年-1992年は予防報告書、アセスメント申告書と合わせて1,302件)。

提出された2,174件のプロジェクト(グラフ92)の中、タマウリバス、チアバス、メキシコ、タバスコ、カンペチェ、ソノラ、ベラクルスの各州から環境影響の評価・判定を求めて提出された工事・活動プロジェクトが59.8%を占めている。メキシコ湾岸各州およびチアバスから提出されたアセスメント申告書の数が評価対象となったプロジェクト総数の51.66%と増加していることは特記すべきことである。

環境アセスメント手続きに付された申告書を経済分野別に見てみよう。グラフ93、94は1993年-1994年のデータを示しているが、第三次産業が76%、第二次産業16%、第一次産業8%となっている。このデータは、プロジェクトがエネルギー部門に集中している事実を物語っており、パイプラインや地震探査、油田の掘削のような石油公団のプロジェクトと電力庁の送電・変電施設のプロジェクトを合計すると環境アセスメント手続きの仕事量の51.4%に相当している。

1994年には何年間も放置されていたエネルギー部門の優先的な大規模プロジェ

クトについて判定が下された。ベタカルコやツクスパンの火力発電所プロジェクト、アグア・プリエタ、テマスカル水力発電所プロジェクト、それに25カ所の変電所プロジェクトなどがその例と言える。

石油研究所 (IMP) も1993年に16件、1994年5月までに33件、合計49件の環境アセスメント評価を行った。内容は予防報告書27件、一般申告書20件、中間申告書2件である。

連邦環境観察庁は1993年中環境への影響に関し 400回の立入り検査を実施し、1994年に入ってから6月までに 103回を実施している。

2) 観光開発プロジェクトと環境アセスメント評価

観光業がメキシコ国にとって雇用の創出と外貨獲得上重要な位置を占めていることは事実であるが、一方では経済活動としての観光業に関連するプロジェクトや工事が自然環境に深刻な影響を与えることは広く指摘されている。こうした理由から、環境プロジェクトは法に規定される環境アセスメント調査を実施する義務を負っている。

法規制の枠組みは観光的に利用し得る地域を保護するための有効な手続きを提供している。1994年ゲレロ州アカブルコ市の観光メガプロジェクト、「ダイヤモンド岬」が一時停止されたのはその好例と言える。市場はこの事実を、生産活動と言えどもすでに環境アセスメント調査を単なる行政手続きとして二次的なものと考えべきではなく、生産活動計画の一端をなすものと考えべきである印として理解すべきであろう。

1993年には下記の環境アセスメント申告が行われた。

南バハ・カリフォルニア州ロレット観光開発第一フェーズ環境アセスメント。ゲレロ州イスタバ、コンタマル地区市街地化にかんする環境アセスメント申告、キンタナ・ロー州カンクン、観光地区第三次環境アセスメント申告。

これに加え、下記の予防報告書が作成された。

ゲレロ州イスタバ、イスタバ岬変電所。オアハカ州ウアトルコ、ラ・エントレガ汚水処理場、サンタ・クルス・チャウエおよび、タンゴルンダにおける石積み護岸工事。キンタナ・ロー州カンクン、ボホルケス・ラグーンの海藻除去キャンペーン。

1994年には次のような観光プロジェクトの環境アセスメント調査が実施される予定である。

南バハ・カリフォルニア州ロス・カボスー地均し、舗装、廃水用・雨水用排水管、道路縁、歩道、電線の地下埋設、街灯、電話専用導管・電話線の設置に関する調査。

オアハカ州ウアツルコ湾ーボカナでは地均し、舗装、道路縁、歩道、上水、廃水・

雨水用下水管、電化、街灯に関する工事、クルセロでは電化および廃水溝の設置。治水工事、地均し、舗装、飲料水、廃水・雨水用下水管、道路縁、電化、街灯、送電線、エル・アレナル貯水タンクの設置および井戸とタンク導水管との連結。

地均し、上水、下水管、道路縁、歩道、電化、モジュール建設を含むラ・エントレガ海洋公園の完成工事。

キンタナ・ロー州カンクン-第XIから第XIXまでのスーパーブロック (supermanzana) の市街地区汚水処理場、および第XXIスーパーブロックの市街化工事。

これに加え下記の予防報告書が作成される予定。

南バハ・カリフォルニア州ロレト-害虫駆除キャンペーン、広場・庭園、除圧タンクの建設と給(水)管との接続。ロス・カボスでも害虫駆除キャンペーン。オアハカ州ウアツルコ湾-害虫駆除キャンペーン、水道橋の補強とこれに平行した上水用導水管の設置、電化と東側街路の街灯設置、導水管、タンクおよびポンプ場のウアツルコおよびカカルタでの建設、パノラマ道路完成のための地均し、舗装、雨水からの保護、道路縁、歩道工事、タンゴロンダ、チャウエ交差道の水平・垂直標識、チャウエ、タンゴロンダの水路の堤体、石積みおよび被覆のための盛土、「H-S」セクター(第一期)完成のための舗装、歩道、廃水・雨水用下水設置工事、選択的植林(第一期)、パノラマ道路の標識、コネホス大通りの歩道、路肩、および斜面の安定性、サンタ・クルス、チャウエ、タンゴロンダのロックフィル・ダム(第二期)、水路CH-IAの延長、陸上大量交通手続き(バス)駅へのアクセス道の完成のための地均し、舗装、歩道、街灯、標識。

ゲレロ州イスタバー-害虫駆除のキャンペーン、ゴルフ場汚水処理プラントの汚泥の処理および処分、プラント内での井戸の掘削、整備、電化および連結。

キンタナ・ロー州カンクン-害虫駆除キャンペーン、ボナンバック、ツルム、ククルカン核大通りの延長部分の地均し、舗装、歩道、雨水用排水管、街灯の設置。

第8章 本格調査の概要

8-1 調査の目的

豊富な観光資源を有するメキシコ国において、観光セクターは、メキシコ経済・社会の中において重要な位置を占めており、外貨獲得による経常収支の改善、民間消費の増大、雇用規模の拡大をはかる上で重要なものとなっている。

しかしながら、近年メキシコ経済は、外国人観光客数や外貨収入の伸び悩みに直面しており、豊富な観光資源をさらに有効に活用し、雇用と所得を創出するための新たな戦略に基づいて、さらなる開発が期待されている。

同時に、貴重な自然環境や文化遺産の保護は、観光が将来に向けて持続的な発展を遂げて行くために不可欠なものである。このため、自然環境や文化遺産を保護、保全するための環境面での対策が必要となっており、観光資源の保全、活用、開発との調和が、求められている。

このような背景の下、同国の主要観光地の評価を通じて、それら観光地にかかる今後の観光開発戦略および観光プロモーション・広報戦略を策定するものである。

8-2 調査実施上の基本方針

(1) 歴史、文化遺産、自然環境などを生かした観光振興

観光開発計画を検討するに当たっては、自然環境、文化遺産、各地の伝統の保護、保全の責任を開発者が有することを念頭に^①起きつつ、開発との調和をはかり、持続可能な観光を目指すこと。

(2) 地域経済への貢献

これまで、経済開発に取り残された地域においても、豊富な観光資源を活用することにより雇用と所得を創出し得ることに留意しつつ、先住民の観光開発への参加の可能性と、その伝統的^②生活様式の保持に努めること。

(3) 自然環境、文化などの環境保全に配慮した観光地の整備

観光が将来に向けて持続的に発展を遂げるため、自然環境、文化などの環境保全の必要性の認識を念頭に^③起きつつ、観光資源の保全、環境の保全、景観保持、廃棄物処理、汚水処理などについてシステム化をはかること。

(4) 観光サービスの質の向上

観光振興に当たっては、ホスピタリティーの質を高めることが不可欠であり、観光

サービスの質の向上をはかること。そのためには、観光従事者について優れた人材の育成が必要であり、教育訓練制度の充実をはかること。

(5) 観光振興のマーケット

日本人観光客の増加、日本からの投資に対するメキシコ国側の期待は、非常に大きいものであるが、現状においてメキシコ国への外国人観光客の大部分は米国人であって（日本人は全体の1%にも満たない）、この状況の下では、日本人観光客の急激な変化は期待できない。したがって、本格調査がこれらを主目的とするものにならないよう配慮すること。

このため、観光マーケットにおいては、米国からの旅客を基本とし、あわせて、中南米、欧州、日本を含むアジアからの旅客の可能性を検討すること。

(6) 旅行の容易化の促進

スペイン語中心の観光地の案内標記を改め、英語その他の多様な言語による観光案内の整備により、外国人観光客の旅行の容易化を促進する。

(7) 公的セクターの役割の明確化

従来のような政府主導の観光開発の時代から民間投資の増大に対応した公的セクターとしての連邦政府（SECTURとFONATUR）の役割のあり方と公的セクターの投資の適切な部門の明確化。

(8) 魅力ある観光地づくり

従来、ビーチリゾートを中心とした開発手法をとってきたことへの反省に立って、長期滞在が可能となるような観光メニューの提供が必要であること。

同時に、画一化しがちな各観光地の土産品などについて観光商品の多様化とそのために必要なサービス、施設、内容の検討が必要であること。

(9) 観光プロモーション

現在進めつつある観光プロモーション（市場調査、広報戦略）および観光政策／制度に対する的確な評価が必要であること。

8-3 調査対象地域

メキシコ国における6カ所の主要観光地（カンクン、ロス・カボス、アカプルコ、マサト

ラン、ウァトゥルコ、プエルトバジャルタ)のうち、本件調査の中で選定される2カ所または3カ所についての戦略策定を行う。

8-4 調査の期間

調査期間は、約16カ月とする。

8-5 調査の内容

本件調査の内容は、次のとおりとする。

(1) 観光セクターレビュー

メキシコ国の観光セクターの全体像の把握および主要観光地、都市の特徴、位置付け、ポテンシャルを把握するために、既存資料の分析、旅行業者、観光業者等へのヒアリングなどにより、メキシコ全体の観光セクターの概要を整理する。セクターレビューは、国レベル、州レベル、必要に応じて観光地レベルで行うものとする。重点を置く項目は下記のとおりである。

- ・観光の特徴(統計資料の分析、ヒアリングによる分析)
- ・観光資源(文化遺産、自然環境等の種類、数、評価)
- ・観光政策・行政・組織および観光開発関連の制度・規則(観光法、その他)
- ・観光産業(ホテル、レストラン、観光アトラクションなど)および人材育成(専門学校など)
- ・交通インフラ(道路、空港、港、鉄道、バス、その他)
- ・公共インフラ(電気、通信、水道、廃棄物処理、医療保健など)
- ・観光プロモーション、マーケティング活動
- ・環境管理および文化財保護、環境の変遷
- ・観光産業の経済効果(国際旅行収支、GNPに対する割合、生産波及効果、消費規模、雇用創出効果)

(2) 詳細調査対象の観光地の選定

セクターレビュー結果に基づいて主要観光地を分類するとともに、2つまたは3つの詳細調査対象となる観光地を選定する。選定の基準は下記の点が考えられるが、調査の中で明らかにすること。

- ・外国人観光客の集客ポテンシャル
- ・観光開発戦略の見直しの必要性(問題の存在)

- ・事業実施余地の存在、
 - ・環境上の制約 その他
- 同時に、詳細調査範囲の確定をする。

(3) 観光地の現況調査および評価

選定された観光地について詳細に現況を調査し、評価を行う。評価項目は主に下記のとうりとするが、各観光地ごとに問題点を十分見極めた上で、評価の必要な項目を選定し、戦略策定に資するための評価を行うものとする。

既存計画／マスタープランの内容、進捗状況、目標達成度等

土地利用状況

観光需要の傾向と特徴

観光開発／運営の体制

観光プロモーション／マーケティング活動

観光資源

観光活動

環境の現況／環境管理・文化財保護のための体制・制度

観光施設

交通インフラ／公共インフラ（観光ゾーンおよび地域住民の居住ゾーン）

公共サービス／治安状況

観光サービスの水準 その他

1) 既存資料による現況分析

2) 現地踏査による現況調査

選定された観光地の現地踏査を行い、既存データによる分析結果の検証と現況の把握を行う。

3) メキシコ国における観光に対するアンケート調査

メキシコ国における観光の現状に対する意見を取りまとめるために下記のアンケート調査を実施する。このアンケート調査の目的は、主に（1）メキシコ観光の魅力を明らかにする、（2）プロモーション戦略決定のための基礎資料とする、（3）観光施設、サービスなどの現状と改善に必要な点を把握する、の3点である。

ア) 観光客へのアンケート調査

（場所：選定された観光地 米国、欧州、その他マーケット各 200サンプル程度）

調査内容： ・認知媒体 ・旅行形態と内容 ・競合地（検討対象地以外の目的地）

・メキシコ観光の魅力と事前期待事項 ・旅行実施（旅行選択）
要因 ・満足点と不満点 ・再訪希望の有無 ・改善希望事項
その他

イ) 潜在市場調査（アンケート調査、電話調査）

（米国の主要都市、日本の主要都市、欧州の主要都市；各 200サンプル程度）

調査内容： ・メキシコ国の認知度と認知内容（魅力）、媒体
・メキシコ国の訪問希望と経験の有無
・メキシコ国への旅行の実施条件

ウ) 旅行会社／航空会社のインタビュー調査

（対象：米国、欧州、その他の主要な旅行会社／航空会社、各3社程度）

調査内容： メキシコ国のデスティネーションとしての評価
（利益、集客の容易性、ツアー実施の問題点・可能性）

ウ) 住民（訪問インタビュー調査 サンプル数：）

地域インフラ、居住環境、家計（収入、支出）、環境

4) 現状分析結果の取りまとめ

上記調査の完了後、その結果を問題点、制約条件、ポテンシャルの把握を行うに当たって使いやすいフォーマットにまとめる。

(3) 観光開発の社会的、経済的インパクトの評価

観光分野の公共投資の効果を把握するために、選定された観光地において当該分野に投入された公共投資の実績を分析するとともに、その投資による社会的、経済的インパクトを分析する。

ア. 地域内において過去20年間に行われた公共投資の金額、財源、事業主体とその構成の分析

イ. 観光客の消費額（国内客、外国人客）および観光収入についての分析

ウ. 観光開発による直接／間接的なインパクト（便益）の分析

観光開発のもたらす社会的、経済的インパクトについて幅広い視野から検討を行い、可能なものについては定量化する。

a. 観光産業の経済的インパクト（外貨獲得、経済活動の活発化、雇用拡大）

b. 地域開発に対する社会的インパクト

（インフラ整備、生活水準向上など地域社会に対するによる便益）

エ. 算出されて費用・便益の比較による経済効果の試算

(5) 観光地の特徴、ポテンシャルおよび観光開発の問題点の把握・分析

(4)までの現状評価／分析結果に基づいて、観光地ごとにその自然、歴史、文化などの観光資源の特徴、ポテンシャルを整理するとともに、今まで行われてきた観光開発の効果、問題点、今後の開発に対する制約条件を列挙し、それぞれの点について整理する。

特に配慮が必要と考えられる項目は下記のとおりである。

- ・観光資源と地域開発との調和
- ・観光資源の保全および環境保全
- ・インフラ能力（既存、潜在能力）

(6) 観光開発コンセプト・目標・シナリオ代替案の設定

(5)に基づき、各観光地の開発コンセプト代替案を設定する。また、それぞれの代替案に基づくサービス水準、集客目標、開発シナリオ（必要とされるハード、ソフト面の整備など）の代替案を設定する。

- ア．各観光地の強調すべき特徴、セールスポイントの設定および開発コンセプト代替案の設定
- イ．各代替案についてのサービス水準の設定および開発目標の設定
- ウ．各代替案について観光開発シナリオ（ハード面、ソフト面の整備構想）の設定

(7) 観光開発戦略の策定

ア．最適シナリオの選定

(6)の代替案について、メキシコ側の意向を取り入れつつ、観光需要・供給、経済・社会インパクトの検討を行い、最適な開発シナリオを選定する。選定に当たっては、各代替案の観光需要・供給および経済的・社会的インパクトについても検討を加えること。評価、選定の基準についてわかりやすく取りまとめること。

イ．プロジェクト概要書の作成

最適シナリオに基づいて、インフラ・観光施設・その他必要なプロジェクトを提案し、その概要書を作成する。概要書の内容は主に下記のとおりとする。また、各プロジェクトの事業主体についても提案する。

- a．プロジェクトの対象、目的、内容の説明およびコンセプト図
- b．概略事業費積算
- c．概略経済／財務分析
- d．初期環境調査
- e．事業実施計画の策定（フェーズ分け、短・中・長期）

ウ．短期計画の実施計画の提案

(8) 観光振興、マーケティング戦略の提案

各観光地の開発シナリオにしたがって、集客目標を達成するために必要となる観光振興／マーケティング戦略を提案する。同時に、計画達成のために必要な民間投資の振興戦略についても提案する。

ア. 各観光地の観光振興／マーケティング戦略の提案

- a. 目標市場の設定（北米、欧州、アジアなど）
- b. セールスポイント
- c. 宣伝方法
- d. マーケティング戦略
- e. 実施機関

イ. 観光振興／マーケティングプロジェクトの提案および概要書の作成

- a. 概略事業費積算
- b. 概略経済／財務分析
- c. 事業実施計画の策定（フェーズ分け、短・中・長期）

ウ. 短期計画の実施計画の提案

(9) 観光政策立案／実施機関の検討

現在の観光開発の組織／制度のレビューの結果に基づいて、その問題点についての対応策を、メキシコ政府が実施中の行政改革政策を踏まえ、検討・提案する。

(10) 全国レベルの観光開発戦略に関する提言

選定された観光目的地について策定された観光開発／プロモーション戦略およびその他の地域の観光資源、開発状況を踏まえ、メキシコ全体に関する観光開発戦略についての提言を行う。内容としては、各観光拠点を結ぶ観光ツアールートの提言、観光案内標識の設置、博物館などにおける外国語による説明文の導入など、外国人観光客の理便性向上のための提言や交通インフラの整備などに関する提言などが考えられる。

(11) 総合評価および提言

選定された観光地に対して行われた評価、戦略策定の結果を踏まえ、メキシコ国におけるその他の観光地に対する提言を行うとともに、メキシコ全体の観光開発の促進のための提言を行う。

8-6 調査の実施体制

本格調査に当たっては、下記のような分野の団員が必要と考えられる。

(1) 総括／観光開発計画

調査全体の総括、現状分析、問題点・制約条件の把握、観光開発戦略の策定、総合評価・提言

(2) 観光資源評価

観光資源の現況調査、観光資源評価、観光開発戦略の策定

(3) 観光行政／制度／組織

観光行政／制度／組織の現状分析、問題点の把握、制度／組織の改善計画の策定

(4) 観光振興計画／観光情報分析

観光振興、広報、顧客誘致、投資誘致・促進、情報管理、整備に関する現状分析、

(5) 市場調査／需要予測／マーケティング計画

市場アンケート調査、需要予測、マーケティング戦略策定

(6) 地域計画／土地利用計画

インフラ整備、施設整備関係の取りまとめ、インフラ、施設整備戦略の策定

(7) 観光施設計画

観光施設の現況把握、観光施設整備計画の策定

(8) 交通／輸送計画

交通／輸送インフラの整備の現況把握、交通／輸送インフラ整備戦略の策定

(9) 観光インフラ

上水道、下水道の能力、施設の現況の把握、上・下水整備戦略の策定 電力・通信施設の能力、現況の把握、電力・通信施設整備戦略の策定

(10) プロジェクト評価／経済・財務分析

観光投資実施の把握、観光による雇用創出効果など、便益の検討・分析、経済インバ

クトの分析、投資計画の策定、経済・財務分析

(11) 環境保全／都市衛生・廃棄物処理

廃棄物処理、都市衛生管理に関する現況分析、廃棄物、衛生管理、医療施設の整備戦略の策定、環境現況調査、初期環境調査、開発との調和、観光開発戦略の策定、法制度、組織、体制の提案

(12) 社会分析

観光開発・投資の地域社会に対する経済的・社会的インパクトの分析、先住民の観光セクターへの参加にかかわる影響および効果の調査・分析、

8-7 本格調査における留意事項

(1) 調査の課題

本件調査は、過去成功を収めてきたメキシコ国の観光産業が、近年伸び悩んでいる現状を受けて、要請されたものである。メキシコ国においては、多くの観光客を受け入れている実績もあり、観光分野のノウハウの蓄積は相当のものがある。しかしながら、これらノウハウは、アメリカ方式のリゾート開発に基づくものであり、これ以外の角度からの検討はあまりなされていない状況である。

従って、過去に作定された計画と観光の現状を十分調査した上で、それらとは別の角度からの視点に基づいた戦略の提案が期待されている。

(2) ソフト面からの戦略の必要性

カンクン、アカプルコ、ロスカボスなどにおいては、ホテル、ゴルフ場、マリーナ、コンドミニウムなどの施設の計画は非常に多いが、観光客の娯楽活動のバリエーションはマリンスポーツやゴルフ等に限られており選択の幅は狭く、新しいアイデアはほとんどないのが現状である。従って、特に、新しい市場開発に向けたソフト面での企画の提案が必要とされている。

(3) 組織の検討

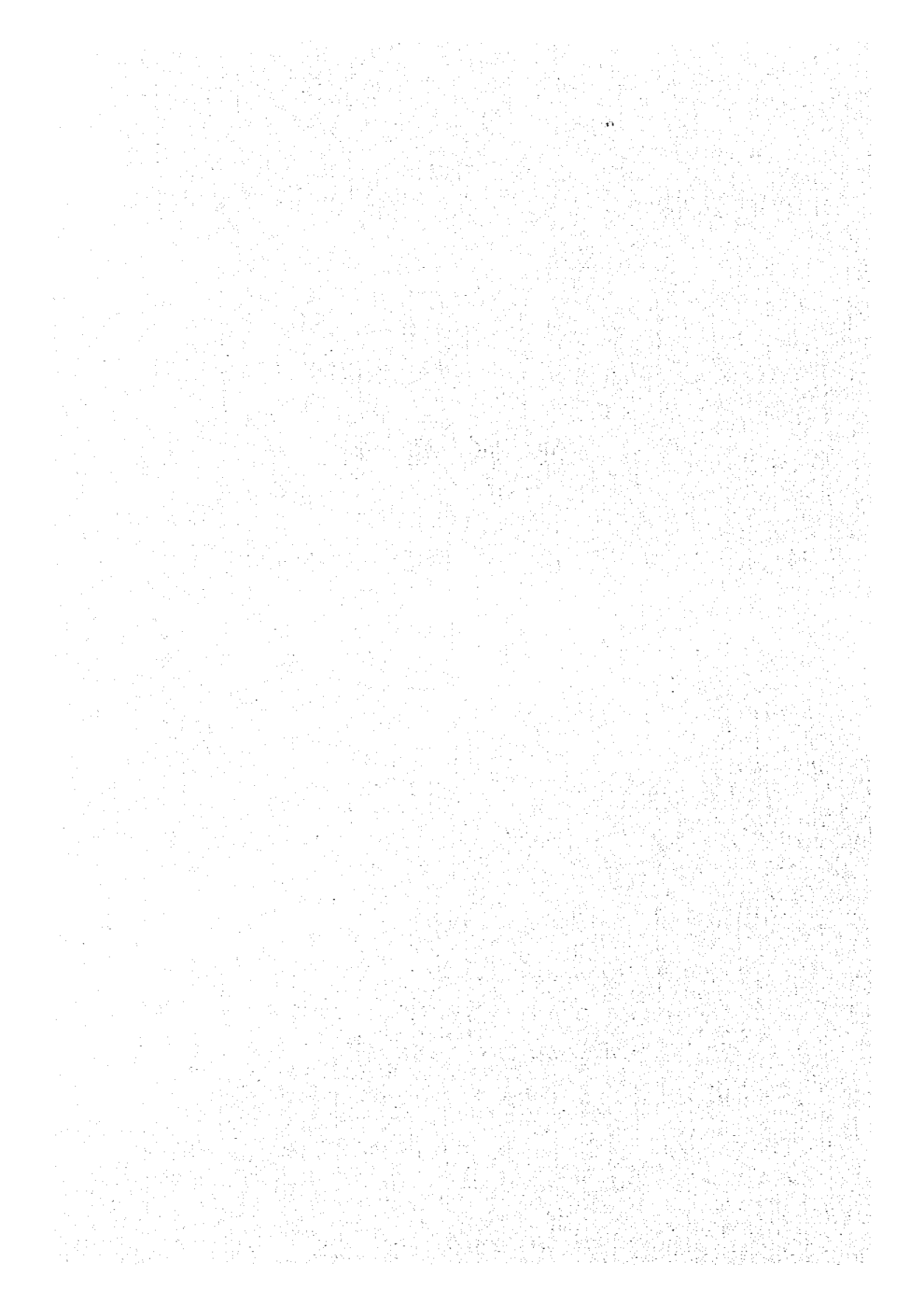
観光省 (SECUTER) および FONATUR は、メキシコ政府内における同組織の位置付け、予算規模などについて必ずしも十分とは言えない現状を改善するための手段として、組織防衛上のニーズから今回の開発調査結果に期待を寄せている面があると思われる。このため、本格調査に当たっては、観光省および FONATUR の意向には十分配

慮しつつも、両者の希望を過度に取り上げることなく客観的な調査結果となるよう留意する必要がある。

(4) 民間ベースの開発の状況の確認

政府ベースの観光開発計画に加え、民間ベースで大規模な観光開発が進められている。これら民間開発については、相互に調整がとられているとは考えられず、また、全部の計画が完成した場合には、過剰な施設を抱えることが予測される。政府／地方政府の観光開発計画のみならず、民間ベースで行われている開発計画についても確認を行い、これらを踏まえた計画を提案する必要がある。

付 属 資 料



Scope of Work(SAW)

SCOPE OF WORK
FOR
THE STUDY
ON
FORMULATION OF TOURISM DEVELOPMENT AND PROMOTION STRATEGIES
FOR THE SELECTED TOURISM DESTINATIONS
IN MEXICO

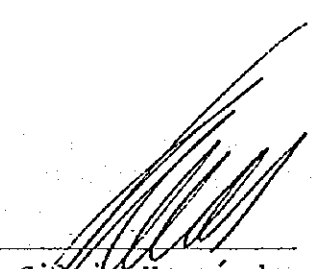
AGREED UPON BETWEEN

SECRETARIAT OF TOURISM

AND

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Mexico-City, April 27th, 1995



Lic. Silvia Hernández
Secretary,
Secretariat of Tourism

有野一馬
Kazuma Arino
Leader,
Preparatory Study Team
Japan International
Cooperation Agency

I. INTRODUCTION

In response to the request of the Government of the United Mexican States (hereinafter referred to as "the Government of Mexico"), the Government of Japan has decided to conduct the Study on Formulation of Tourism Development and Promotion Strategies for the Selected Tourism Destinations In Mexico (hereinafter referred to as "the Study"), in accordance with the relevant laws and regulations in force in Japan.

Accordingly, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the official agency responsible for the implementation of the technical cooperation programs of the Government of Japan, will undertake the Study in close cooperation with the authorities concerned of Mexico.

The present document sets forth the Scope of Work with regard to the Study.

II. OBJECTIVES OF THE STUDY

The objectives of the Study are;

- to undertake evaluation and analysis of tourism development at the selected tourism destinations in Mexico,
- to propose tourism development strategies for the selected tourism destinations based on the evaluation and analysis above, and
- to propose tourism promotion and marketing strategies for those destinations.

III. STUDY AREA

The Study mainly focuses on the tourism destinations with comprehensive tourism development plans in Mexico.

The destinations to be studied at the detailed level will be selected in the course of the Study, and the number of such destinations will be limited to two(2) or three(3).

IV. SCOPE OF THE STUDY

In order to achieve the above-mentioned objectives, the study covers the following items;

1. Tourism Sector Review

Tourism sector of Mexico as a whole will be outlined by examining available data and information, and visits to some of the major tourist destinations, with emphasis on the following aspects:

- tourist characteristics
- tourism resources
- tourism administration, and policy and institutional framework of tourism development
- tourism industry and training
- tourism facilities
- transport and public infrastructure
- tourism promotion and marketing activities
- environmental management and protection of cultural heritages

2. Selection of Tourism Destinations for Detailed Study

Based on the sector review, tourism destinations with comprehensive tourism development plans will be categorized according to their characteristics, and two(2) or three(3) destinations will be selected for the detailed study to be undertaken in the subsequent stage.

3. Evaluation of Tourism Destinations

Selected tourism destinations will be examined and evaluated at the detailed level from the aspects including but not limited to those listed below:

- contents of master plan
- land use
- trend and characteristics of tourist demand
- institutional framework of development and operation
- tourism promotion and marketing activities
- tourism resources
- tourism activities
- environmental conditions and institutional framework for environmental management and protection of cultural heritages
- tourism facilities
- transport and public infrastructure
- public services and security conditions
- quality of services for tourists

4. Study on costs and benefits of tourism Development

Economic and social impacts of comprehensive tourism development at the selected tourism destinations will be evaluated in the following manner:

- analysis of the volume and composition of the public investment already made
- analysis of tourism income and tourist's consumption
- analysis of direct and indirect impact of tourism development generated
 - Economic impact to tourism industry
 - Social impact to regional development
- comparison of cost and benefit of tourism development

5. Identification and Analysis of Major Issues and Shortcomings of Tourism Development

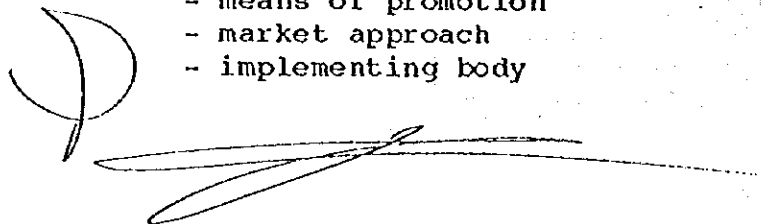
6. Forecast of Future Tourist Demand

7. Proposal of Tourism Development Strategies and Development Plans

- (1) Definition of profile and development concept of each destination
- (2) Determination of level of service and targets of future development at each destination
- (3) Proposal of tourism development strategies
- (4) Proposal of tourism development plans with preliminary cost estimate and economic/financial evaluation, initial environmental examination and implementation plan, as required
- (5) Recommendation of action plans for early implementation

8. Proposal of Tourism Promotion and Marketing Strategies and Plans

- (1) Proposal of tourism promotion and marketing strategies for each tourism destination by defining the following:
 - targeted market
 - points of appeal
 - means of promotion
 - market approach
 - implementing body



(2) Proposal of tourism promotion and marketing plans with preliminary cost estimate and implementation plan

(3) Recommendation of action plans for early implementation

9. Recommendations for Other Tourism Destinations

Based on the the foregoing, recommendations will be prepared for the development and promotion of other tourism destinations with comprehensive tourism development plan in Mexico.

V. STUDY SCHEDULE

The whole work shall be carried out in accordance with the attached tentative study schedule (APPENDIX).

VI. REPORT

JICA shall prepare and submit the following reports both in English and Spanish to the Government of Mexico.

1. Inception Report
Thirty (30) copies.
At the beginning of the Study in Mexico.
2. Progress Report
Thirty (30) copies.
Within four (4) months after the submission of the Inception Report
3. Interim Report
Thirty (30) copies.
Within seven (7) months after the submission of the Inception Report.
4. Draft Final Report
Thirty (30) copies.
Within thirteen (13) months after the submission of the Inception Report.
The Government of Mexico shall provide JICA with its comments within one (1) month after the receipt of the Draft Final Report.
5. Final Report
Fifty (50) copies.
Within two (2) months after the receipt of the comments on the Draft Final Report.

In case any doubt arises in interpretation, the English text shall prevail.

VII. UNDERTAKINGS OF THE GOVERNMENT OF MEXICO

1. The Government of Mexico shall accord privileges, exemptions and other benefits to the Japanese Study Team (hereinafter referred to as "the Team") in accordance with the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of Mexico.

2. To facilitate smooth conduct of the Study, the Government of Mexico shall take necessary measures:

- (1) To secure the safety of the Team;
- (2) To permit the members of the Team to enter, leave and stay in Mexico for the duration of their assignment therein, and exempt them from foreign registration requirements and consular fees;
- (3) To exempt the members of the Team from taxes, duties and other charges on equipment, machinery and other materials brought into and out of Mexico for the conduct of the Study;
- (4) To exempt the members of the Team from income taxes and other charges of any kind imposed on or in connection with any emoluments or allowances paid to the members of the Team for their services in connection with the implementation of the Study;
- (5) To provide the necessary facilities to the Team for remittances as well as utilization of funds introduced into Mexico from Japan in connection with the implementation of the Study;
- (6) To secure permission for entry into private properties or restricted areas for implementation of the Study within the laws and regulations in force in Mexico;
- (7) To secure permission for the Team to take all data and documents (including maps, photographs) related to the Study out of Mexico to Japan;
- (8) To provide medical services as needed. Its expenses will be chargeable on the members of the Team.

3. The Government of Mexico shall bear claims, if any arises, against the members of the Team resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with, the discharge of their duties in the implementation of the Study, except when such claims arise from gross negligence or willful misconduct on the part of the members of the Team.

4. Tourism Policy Unit, Secretariat of Tourism shall act as a counterpart body to the Team and also act as a coordinating body in relation with other governmental and

non-governmental organizations for the smooth implementation of the Study;

5. Secretariat of Tourism shall, at its own expense, provide the Team with the following, in cooperation with other relevant organizations;

- (1) available data and information, related to the Study including aerial photographs and maps,
- (2) counterpart personnel,
- (3) suitable office space with necessary equipment in Mexico-city,
- (4) credentials or identification cards, and
- (5) appropriate number of vehicles with drivers.

VIII. UNDERTAKING OF JICA

For the implementation of the Study, JICA shall take the following measures:

- (1) to dispatch, at its own expense, the Team to Mexico, and
- (2) to pursue technology transfer to Mexican counterpart personnel in the course of the Study.

IX. OTHERS

1. JICA and Secretariat of Tourism shall consult with each other in respect of any matter that may arise from or in connection with the Study.

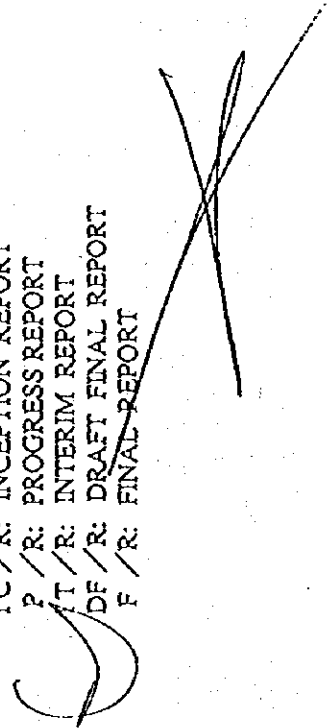
2. The Scope of Work is prepared both in English and Spanish. In case any doubt arises in interpretation, the English version shall prevail.

3. With regard to the issues discussed between the Preparatory Study Team and Mexican side in connection with the Scope of Work, both sides prepared for and agreed upon Minutes of Meeting on the Scope of Work.

TENTATIVE STUDY SCHEDULE

| MONTH | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|---------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|
| WORK IN MEXICO | | | | ■ | | | | ■ | | | | | ■ | | | |
| WORK IN JAPAN | | | | | | | □ | | | □ | | | | | | □ |
| REPORT PRESENTATION | Δ | | | | | | | | | | | | | | | Δ |
| IC/R | | | | | | | | | | | | | | | | |
| P/R | | | | | Δ | | | | | | | | | | | |
| IT/R | | | | | | | | Δ | | | | | | | | |
| DF/R | | | | | | | | | | | | | Δ | | | |
| F/R | | | | | | | | | | | | | | | | Δ |

IC/R: INCEPTION REPORT
P/R: PROGRESS REPORT
IT/R: INTERIM REPORT
DF/R: DRAFT FINAL REPORT
F/R: FINAL REPORT



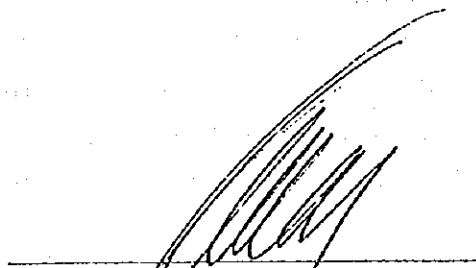
Minutes of Meetings(M/M)

MINUTES OF MEETING
ON
THE SCOPE OF WORK
FOR
THE STUDY
ON
FORMULATION OF TOURISM DEVELOPMENT AND PROMOTION STRATEGIES
FOR THE SELECTED TOURISM DESTINATIONS
IN MEXICO

AGREED UPON BETWEEN

SECRETARIAT OF TOURISM
AND
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Mexico-City, April 27th, 1995



Lic. Silvia Hernández
Secretary,
Secretariat of Tourism

有野一馬

Kazuma Arino
Leader,
Preparatory Study Team
Japan International
Cooperation Agency

The Preparatory Study Team organized by Japan International Cooperation Agency, headed by Mr. Kazuma Arino, Director, International Affairs Office, Planning Division, Department of Tourism, Transport Policy Bureau, Ministry of Transport, has visited Mexico from April 18, 1995 to May 8, 1995 for the purpose of discussing the Scope of Work for "The Study on Formulation of Tourism Development and Promotion Strategies for the Selected Tourism Destinations in Mexico"(hereinafter referred to as "the Study").

The Preparatory Study Team exchanged views and held a series of discussions with representatives of Secretariat of Tourism and other organizations concerned. A list of the participants appears in Attachment I.

The Preparatory Study Team has also visited several tourism destinations for the purpose of understanding the actual situation of typical tourism destinations in Mexico and collection of data necessary for the Study.

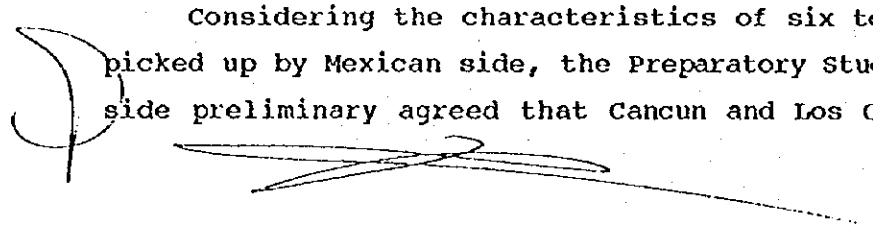
Through these discussions, both sides have completed the Scope of Work for the Study and confirmed the following points in relation to the Scope of Work;

1. Main objectives of the Study

The Preparatory Study Team and Mexican side confirmed the main objectives of the Study is formulation of tourism promotion and development strategies in the selected tourism destinations, based on evaluation and analysis of the destinations. In addition, both sides also confirmed that objects and depth of the evaluation and analysis on these destinations will vary according to the character of the destinations.

2. Study Area

Considering the characteristics of six tourism destinations picked up by Mexican side, the Preparatory Study Team and Mexican side preliminary agreed that Cancun and Los Cabos have priority



to be included in the study Area for detailed survey. In addition to the two destinations, maximum one from the remaining four destinations might be chosen as the Study Area in the course of the Study.

3. Target year of the Strategy and Action Plan

Both sides agreed that the target year will be as follows:

Strategy 2010

Action Plan 2002

The Study Team and Mexican side may discuss the target year if any modification is necessary, in the course of the Study.

4. Interview Survey for tourists

In the course of the study, Interview Survey at hotels, airports, roadside, etc. should be held. The Preparatory Study Team requested Mexican side to provide the Study Team with necessary arrangement for getting permission from relevant authorities, etc for conduct of this kind of survey. Mexican side agreed to do so, where necessary.

5. Undertakings of the Government of Mexico

(1) Credentials or identification cards

Mexican side reported the Preparatory Study Team that the Secretariat of Tourism will provide the members of the Study Team with Identification Letter, which can be used as Identification Card, instead of Identification Card. The Preparatory Study Team agreed this.

(2) Appropriate number of vehicles with drivers

Mexican side requested the Preparatory Study Team that vehicles to be used in Mexico City for daily transportation would be arranged by the Study Team. The Preparatory Study Team agreed to convey the request to Japan. Also, Mexican side agreed to make arrangement with States governments and Fondo Nacional de Fomento al Turismo (FONATUR) to prepare for land transportation

for site survey in tourism destinations.

(3) Office Space

Mexican side agreed to provide the Study Team with office space in the building of the Secretariat of Tourism, which is equipped with six sets of desk, telephone and facsimile. The Preparatory Study Team expressed gratitude for the arrangement.

(4) Counterpart personnel

Both sides agreed that Secretariat of Tourism will assign the counterpart personnel to the Study Team, after the Study Team members are fixed and such information is received by the Ministry.

6. Counterpart Training in Japan

Mexican side requested the Preparatory Study Team to hold counterpart trainings in Japan. The Team agreed to convey the request to Japan.


7. Information on the Study Team

In response to the inquiry on the schedule of the Study from Mexican side, the Preparatory Study Team advised them that the study is prepared to start around September 1995, but the schedule is not decided yet. The Preparatory Study Team agreed to provide Mexican side with concrete schedule through JICA Mexico Office when it is fixed.

Mexican side requested the Preparatory Study Team to inform the details of the Study Team, including name and assignment of each member, duration of stay, equipments for the Study etc., as soon as possible, at least three weeks in advance of their arrival, for making necessary arrangement with other authorities concerned. The team agreed to do so through JICA Mexico Office.

8. Confidential data and information

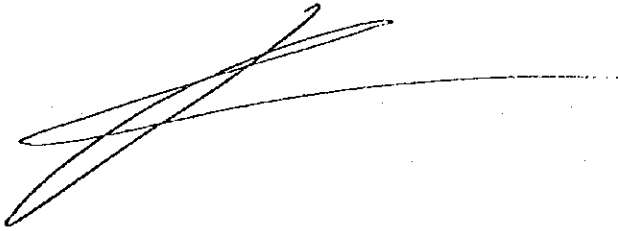
Mexican side advised that confidential data and information



would be provided with the Study Team, but requested that these data and information would not be disclosed to the public. The Preparatory Study Team agreed to advise it to the Study Team.

9. Counterpart Body

Mexican side reported the Preparatory Study Team that the Tourism Policy Unit, which is appointed as a counterpart body to the Study Team, is possible to be modified to other division, due to the reform of the Secretariat of Tourism. In such case, both sides agreed that the succeeding body to the Tourism Policy Unit shall be a counterpart body to the Study Team.



Attachment I

Attendants List

Secretariat of Tourism, Government of Mexico

Lic. Taeko Shimizu Kano, Director of Touristic Study

Lic. Pablo Alvarez Icaza L., Director of Economic Analysis

Lic. Genaro Jiménez Montufar,

Director for Legl Consultant and Covenants

Directorate General of Legal Affairs

FONATUR

Arg. Hugo Malo Juvera y Rocha,

Director of Project and Construction

Preparatory Study Team, JICA

Kazuma Arino, Leader/Tourism Development Planner

Toshihisa Hasegawa, Project Coordinator

Seiji Saeki,

Tourism Development/Promotion Insitutional Specialist

Masahiro Yamashita, Tourism Economist

Yoshiro Iwasa, Tourism Promotion Planner

Kunio Ohashi, Tourism Infrastructure Planner

Yasuo Niimura, Environmental Specialist

Atsuko Yoshikawa, Translator

Embassy of Japan

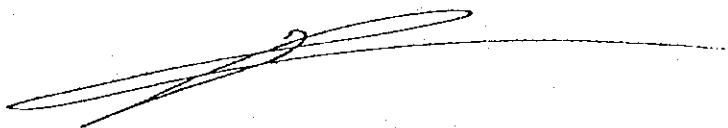
Masaharu Ikegami, First Secretary

JICA Mexico Office

Hirofumi Matsuyama, Assistant Resident Representative

Translator

Keiko Suzuki



SECRETARIA DE TURISMO

**PROPUESTA PARA SOLICITAR ASISTENCIA TECNICA
AL GOBIERNO DE JAPON**

**DIRECCION GENERAL DE POLITICA TURISTICA
DIRECCION DE ESTUDIOS ECONOMICOS**

FEBRERO, 1992

**ESTUDIO PARA DETERMINAR EL PERFIL
DEL TURISMO NACIONAL Y EXTRANJERO, Y
LA INTEGRACION DEL GASTO TURISTICO EN
DESTINOS SELECCIONADOS DE MEXICO**

CONTENIDO

- I Objetivo y propósitos de la propuesta
- II Justificación
- III Resultados esperados
- IV Propuesta Metodológica
- V Requerimientos

I. OBJETIVO Y PROPOSITOS

* Determinar las principales características generales del turista nacional y extranjero que visita los destinos turísticos de:

- Acapulco, Gro
- Bahías de Huatulco, Oax.
- Cancún, Q. Roo
- Cozumel, Q. Roo
- Distrito Federal
- Guadalajara, Jal
- Ixtapa-Zihuatanejo, Gro
- Los Cabos, B.C.S.
- Manzanillo, Col
- Mazatlán, Sin
- Merida, Yuc
- Monterrey, N.L.
- Morelia, Mich
- Oaxaca, Oax
- Puerto Vallarta, Jal
- Zacatecas, Zac

I. OBJETIVO Y PROPOSITOS

- * Determinar las variables más importantes que expliquen la afluencia de dichos visitantes.
- * Conocer con detalle:
 - Características personales de los visitantes: sexo, edad, ocupación, nacionalidad, nivel de ingresos, motivo del viaje, selección de diversiones, etc.
 - Origen y destino de los turistas tanto nacionales como extranjeros.
 - Estadía promedio.
 - Medio de transporte utilizado.
- * Presentar un inventario del producto turístico de cada localidad, así como un análisis de las condiciones generales en que se encuentran.

I. OBJETIVO Y PROPOSITOS

- * Construir y desarrollar un Indice de Precios para el Sector Turismo a nivel nacional, por destino turístico, así como de los bienes y servicios de consumo en este sector.
- * Determinar para cada una de los destinos seleccionados la distribución del gasto turístico de nacionales y extranjeros considerando lo siguiente:
 - Alojamiento
 - Alimentación
 - Transporte Local
 - Diversiones
 - Otros

II. JUSTIFICACION

El sector turismo en México constituye una importante actividad económica, ya que además de ser un medio de preservación y difusión de nuestra cultura, es una importante fuente generadora de empleo y divisas para nuestro país.

Para apoyar lo anterior, sólo basta mencionar que para 1991, se estima que el superavit de la Balanza Turística alcanzará una cifra de alrededor de 2 mil millones de dólares, con ingresos cercanos a 4 mil millones de dólares, que representan el 7% de los ingresos de la cuenta corriente de la balanza de pagos y el 10% de las exportaciones no petroleras.

II. JUSTIFICACION

Cabe destacar que el valor agregado que genera dicha actividad, equivale al 7% del Producto Interno Bruto; genera empleo para más de 2 millones de personas, las cuales representan el 9% de la población económicamente activa del país.

En virtud de lo anterior, desde 1989 se inició un proceso de modernización que busca hacer frente a la intensa competencia internacional y a la creciente demanda de servicios y atractivos que satisfagan las necesidades recreativas de los turistas tanto nacionales como extranjeros. Dicha estrategia está basada en tres aspectos: la desregulación del sector; la ampliación y mejoramiento de la infraestructura turística, a través de la inversión privada nacional y extranjera; y en el

II. JUSTIFICACION

diseño y ejecución de agresivas campañas de promoción, las cuales deben estar enfocadas al mercado turístico adecuado, es decir, para que una promoción sea exitosa se necesita identificar con precisión las características de los visitantes tanto nacionales como extranjeros.

En relación al turismo nacional, cabe resaltar la importancia que reviste para el país, ya que actualmente representa el 70.0% del mercado que demanda oferta de hospedaje.

Así mismo, durante 1990 el turismo nacional ascendió a 36.5 millones de personas, el cual, según estimaciones genera una derrama económica de aproximadamente 22 billones de pesos.

II. JUSTIFICACION

Sin embargo, a pesar de la fortaleza e importancia de éste mercado, no se cuenta actualmente con estudios o investigaciones que nos permita conocerlo a fondo y que a su vez sea posible la implantación de estrategias adecuadas para impulsarlo.

Asimismo cabe señalar, que así como es necesario conocer los gustos y preferencias del turismo nacional, es importante conocer los del turismo extranjero, ya que con base en ello es posible promover los destinos que se adecuan más a sus necesidades y exigencias.

Por tal motivo, para atraer al flujo de turistas hacia nuestros destinos turísticos en forma eficiente se requiere lo siguiente:

II. JUSTIFICACION

- * Identificar las características geográficas de origen y destino de los turistas tanto nacionales como extranjeros.
- * Determinar en que lugar del extranjero y del país deben publicitarse nuestros atractivos turísticos en función del tipo de mercado que reciben los destinos turísticos de México.
- * Adecuar la promoción del turismo nacional y extranjero a los medios de transporte utilizado por cada uno de ellos.
- * Segmentar los polos de atracción de acuerdo a la edad, sexo, nacionalidad o lugar de origen y otras características personales de los turistas.

II. JUSTIFICACION

Por otro lado, es importante mencionar que una de las principales variables que explican la demanda sobre los servicios turísticos, además de la calidad de servicios y el ingreso disponible de los consumidores, es en términos cuantitativos, el precio de los servicios que van a adquirir.

Lo anterior induce a la necesidad de contar con un indicador que nos brinde la posibilidad de conocer nuestra situación de competitividad con respecto al mercado internacional.

Con el uso de dicho indicador se podrían establecer comparaciones entre destinos nacionales e internacionales para contribuir a explicarnos de una manera más objetiva el fenómeno turístico.

III. RESULTADOS ESPERADOS

En relación al análisis del perfil del turismo se espera contar con los siguientes resultados:

- * Conocer las características generales de los turistas nacionales y extranjeros para cada uno de los destinos turísticos seleccionados. Distin- guir por lo menos tres categorías:

- + Geográficas (origen y destino de los turistas)
- + Transporte utilizado
- + Personales: sexo, edad, nacionalidad, ocupación, nivel de ingresos, motivo del viaje, selección de diversiones, etc.

III. RESULTADOS ESPERADOS

- * Identificar las tendencias y factores estacionales que observa el turismo nacional y extranjero en cada uno de los destinos turísticos seleccionados.
- * Precisar los principales determinantes de la demanda del turismo nacional y extranjero en dos aspectos:
 - + Condicionantes macroeconómicos
 - + Condicionantes microeconómicos

III. RESULTADOS ESPERADOS

En relación al estudio sobre la elaboración del Índice de Precios y la integración del Gasto Turístico se requiere lo siguiente:

- * Conocer y actualizar mensualmente el Índice de Precios Turístico así como sus principales componentes.
- * Construir una canasta representativa del consumo interno de los visitantes nacionales y extranjeros para comparar su evolución con otros índices de precios de la economía nacional y del exterior.
- * Determinar la integración del gasto turístico en cada localidad.

IV. PROPUESTA METODOLOGICA

Para la elaboración del estudio sobre el perfil del turismo nacional y extranjero se propone lo siguiente:

- * Diseño de un cuestionario que nos permita conocer los elementos necesarios para determinar el perfil del turista nacional y extranjero.
- * Diseño y análisis de una muestra que considere el ciclo turístico anual.
- * Análisis estadísticos y econométricos para precisar las principales variables macroeconómicas y microeconómicas que determinen el turismo nacional y extranjero.

IV. PROPUESTA METODOLOGICA

Para el caso de la elaboración del Índice de Precios y la integración del Gasto Turístico lo recomendable sería:

- * Utilizar la misma metodología que emplea el Banco de México para la construcción del Índice Nacional de Precios al Consumidor (INPC).
- * Revisar las encuestas que Banxico aplica quincenalmente, para que con base en ello, se ordene la información que pueda utilizarse para estimar el Índice Nacional de Precios Turístico (INPT) a nivel nacional y por destino, de tal manera que permita, además de contar con la información histórica, con su actualización mensual.

V. REQUERIMIENTOS

- * Creación de un grupo técnico por parte de la SECTUR para opinar y trabajar con la agencia japonesa designada en la coordinación y desarrollo del estudio.
- * Proponer la cooperación de Banco de México para la revisión de la metodología e información relevante a utilizar.

T O R 仮 訳

名称 メキシコ観光振興調査

副題 国内及び外客観光のプロフィール並びにメキシコの選定観光地における観光消費の構成を明らかにするための調査

目次

- I 要請の目的及び意図
- II ジャスティフィケーション
- III 期待される結果
- IV 手法の提案
- V 必要事項

I 要請の目的及び意図

次の観光地を訪問するメキシコ人観光客及び外国人観光客の主な一般的特徴を明らかにする。

- アカプルコ (ゲレロ州)
- ウアトゥルコ湾 (オアハカ州)
- カンクン (キンタナロー州)
- コスメル (キンタナロー州)
- メキシコ市
- グアダハラハラ (ハリスコ州)
- イスタパ・シワタネホ (ゲレロ州)
- ロスカボス (南バハカリフォルニア州)
- マンサニージョ (コリマ州)
- マサトラン (シナロア州)
- メリダ (ユカタン州)
- モンテレー (ヌエボレオン州)
- モレリア (ミチョアカン州)
- オアハカ (オアハカ州)
- プエルトバジャルタ (ハリスコ州)
- サカテカス (サカテカス州)

* 上記観光客の流れを説明する最も重要な変数を明らかにする。

* 下記データにより知る

- 観光客の個人的特徴：性別、年齢、職業、国籍、所得階層、旅行目的、娯楽の選択
- メキシコ人及び外国人観光客の出発地及び目的地
- 平均滞在日数
- 利用交通機関

* 各地の観光サービスについて、その現状分析を行うとともに目録を作成する。

* 観光目的のための国レベルの観光セクター物価指数を同セクターの消費財及びサービスの価格指数とともに設定する。

* 次の分類に基づく選定観光地ごとのメキシコ人及び外国人観光客支出内訳を明らかにする。

- 宿泊費
- 飲食費
- 現地交通費
- 娯楽費
- その他

II ジャスティフィケーション

メキシコにおいて観光セクターは重要な経済活動である。それは、我々の文化を保存し普及する手段であると共に、我が国にとって雇用と外貨収入を産み出す重要な源である。

このことを説明するため、1991年を例にとると、観光収支は約20億ドルに達し、収入だけでは約40億ドル、国際収支上の収入の7%に、また、非石油輸出額の10%に相当する。

観光活動が産み出す付加価値は、国内総生産の7%に相当し、また、200万人の雇用（

メキシコの経済活動人口の9%に当る)を産み出す。

この重要性により、1989年から、激しい国際競争に立ち向かうため、また、メキシコ人及び外国人観光客のレクリエーションのニーズを満足させるサービス及び魅力に対する需要の増大に応じて、近代化の過程が始まった。その戦時は、次の3つ側面から成る。同セクターの規制緩和。内外の民間投資による観光インフラの拡充及び改善。積極的なプロモーション活動の企画と実施。これらは、適切な観光マーケットに焦点を当てたものでなければならない。すなわち、プロモーションが成功するためにはメキシコ人及び外国人観光客の特徴の正確な把握が必要である。

国内観光について言えば、我が国にとりメキシコ人による観光の占める重要性は強調されてよい。というのは、現在、宿泊需要の70%を占めるから。

同時に、1990年、国内観光は3,650万人に増加した。これは、推計によれば約22兆ペソの経済支出を産み出す。

しかしながら、同市場の大きさ及び重要性にもかかわらず、現在、このことをはっきりと知ることができ、かつ、これをさらに促進するための適切な戦略の作成を可能とする研究乃至調査を有していない。

また、国内観光の好み、指向を知ることが重要であると同時に、外国人による観光のそれらを知ることにも必要であるといえる。というのは、それらに基づいて外国人のニーズ及び要望により適切な観光目的地を開発促進することが可能になるから。

このような動機から、効果的な形でメキシコの観光地に観光客の流れを導くため、次のことが求められる。

- *メキシコ人及び外国人観光客の出発地及び目的地の地理的特徴を明らかにする。
- *国外及び国内のどこでメキシコの観光的魅力を宣伝すべきか明らかにする。
- *内外の観光プロモーションをそれぞれの利用交通手段にマッチさせる。
- *観光客の年齢、性別、国籍、出身地その他の個人的特徴に応じて魅力の中心を分ける。

他方、観光サービスに対する需要、サービスの質及び消費者の可処分所得を説明する主たる変数の一つが、多くの要素がある中でサービスを受けられる価格であるということは重要なことである。

このことは、国際市場におけるメキシコの競争力の状態を知ることが可能にする指標を持つことの必要性に帰結する。

この指標を用いれば、国内観光地と外国の観光地との間の比較が可能となり、観光現象をより客観的な方法で理解することに役立つ。

III 期待される結果

観光のプロフィールの分析については、次の結果が得られることが期待される。

- *選定観光地毎のメキシコ人及び外国人観光客の一般的特徴を知る。少なくとも3つのカテゴリーに分類する。
 - +地理的特徴(観光客の出発地及び目的地)
 - +利用交通機関
 - +個人的特徴(性別、年齢、国籍、職業、所得階層、旅行目的、娯楽の選択等)
- *選定観光地毎のメキシコ人及び外国人観光客に見られる率簡的な傾向及び要因を明らかにする。
- *メキシコ人及び外国人による観光の主たる決定要因をマクロ経済的要因及びミクロ経済的要因の両面から明らかにする。

物価指数の作成及び観光支出の構成に関する調査では、次のことが求められる。

- * 観光物価指数及びその主たる構成要素を知り、かつ、具現化する。
- * 内外の経済の他の価格指数とその動向を比較するため、メキシコ人及び外国人観光客の国内における消費を表徴するバスケットを作る。
- * 各地毎の観光支出の構成を明らかにする。

IV 手法の提案

メキシコ人及び外国人による観光のプロフィール調査の実施に際し、次の点が提案される。

- * メキシコ人及び外国人観光客のプロフィールを明らかにするため必要な要素は何かを知ることを可能にする質問事項の企画
- * 1年の観光サイクルを考慮したところのサンプルの作成
- * メキシコ人及び外国人による観光を決定付けるマクロ経済的、ミクロ経済的変数を明らかにするための統計的、計量経済的分析

観光物価指数の作成及び観光支出の構成に関しては、次の点が推奨される。

- * メキシコ中央銀行が消費者物価指数を作成する際に用いるのと同様の手法の利用
- * メキシコ中央銀行が半月毎に実施するアンケートを見直す。すなはち、それをベースにして国全体のレベルで目的地別に国内観光物価指数（INPT）を求めるために利用できる情報が整理され、また、これによって過去の情報及び月々のデータが得られる。

V 必要事項

- * 調査の調整と実施にあたり、日本側実施機関に意見を述べ、かつ、協同して作業を行うメキシコ観光省側の作業グループの創設
- * 手法の見直し及び利用すべき関連情報のためメキシコ中央銀行との協力を提案する。

収集資料リスト

List of Collected Data

| 番号 | 資料の名称 | 版型 | 枚数 | 発行年 | 発行機関 |
|----|--|-------------|-----|---------|-----------------------|
| 1 | Federal Law of Tourism, Sector | A4 Original | 6 | 1994 | SECTUR |
| 2 | Legislation Turistica, Secretaria de Turismo | A4 Original | 217 | 1994 | SECTUR |
| | Master Plan | | | | |
| 3 | Cancun | A3 Original | 103 | 1982 | FONATUR |
| 4 | San Jose Del Cabo | A3 Original | 95 | 1982 | FONATUR |
| 5 | Loreto | A3 Original | 93 | 1981 | FONATUR |
| 6 | Extapa-Zihuatanejo | A3 Original | 96 | 1982 | FONATUR |
| | Fonatur 7 年 NO 進展(Evolucion de los Centros Fonatur) | | | | |
| 7 | Los Cabos | A4 Original | 21 | 1988/94 | FONATUR |
| 8 | Las Bahias de Buntulco | A4 Original | 25 | 1988/94 | FONATUR |
| 9 | Loreto | A4 Original | 21 | 1988/94 | FONATUR |
| 10 | Extapa-Zihuatanejo | A4 Original | 25 | 1988/94 | FONATUR |
| | Evaluacion Economica y Financiera Ex-Post .1990 | | | | |
| 11 | Cancun | A4 Copy | 307 | 1990 | FONATUR |
| 12 | Los Cabos ,B.C.S. | A4 Copy | 265 | 1990 | FONATUR |
| | Megaproject, Sector y Fonatur | | | | |
| 13 | Megaproject, Sector y Fonatur | A4 Original | 54 | | FONATUR |
| | Area de Inversion Identificadas por la Secretaria de Turismo y Fonatur | | | | |
| 14 | Area de Inversion Identificadas por la Secretaria de Turismo y Fonatur | A4 Copy | 11 | 1994 | SECTUR & FONATUR |
| | Programa Nacional de Desarrollo Urbano 1990-1994 | | | | |
| 15 | Programa Nacional de Desarrollo Urbano 1990-1994 | B5 Original | 99 | 1989 | SEDESOL |
| | PLAN DIRECTOR DE DESARROLLO | | | | |
| 16 | Ciudad de Cancun | A4 Copy | 95 | 1993 | Quintana Roo |
| 17 | San Jose Del Cabo-Cabo San Lucas | A4 Copy | 181 | 1994 | B.C.S |
| 18 | Acapulco de Juarez | A4 Copy | 107 | 1993 | Guerrero & Acapulco |
| 19 | Mazatlan | A4 Copy | 27 | 1993 | Mazatlan |
| 20 | Puerto Vallarta | A4 Copy | 75 | 1989 | Jalisco & Pt.Vallarta |

| | | | | | | |
|----|---|------|----------|-----|------|-------------------|
| 21 | Bahias de Huatulco | A4 | Copy | 206 | 1991 | FONATUR |
| 22 | Periodico Oficial Del Gobierno del Estado De Quintana Roo | A4.3 | Original | 131 | 1993 | G De Quintana Roo |
| 23 | Prediccion de Mareas 1995 | A5 | Original | 90 | 1995 | FONATUR |
| 24 | Calendario Grafico de Mareas 1995 | A4 | Original | 24 | 1995 | FONATUR |
| | Statistics | | | | | |
| 25 | Informe Anual 1993, Banco de Mexico | A5 | Original | 470 | 1994 | INEGI |
| 26 | Anuario Estadistico de los Estados Unidos Mexicanos | A5 | Original | 668 | 1994 | INEGI |
| | Anuario Estadistico de los Estados de | | | | | |
| 27 | Quintana Roo | A4 | Original | 244 | 1994 | INEGI |
| 28 | Baja California | A4 | Original | 243 | 1994 | INEGI |
| 29 | Guerrero | A4 | Original | 384 | 1994 | INEGI |
| 30 | Sinaloa | A4 | Original | 310 | 1994 | INEGI |
| 31 | CIOR, Cuaderno de Informacion oporuna Regional, INEGI | A4 | Original | 117 | 1994 | INEGI |
| 32 | Acapulco de Juarez Estado de Guerrero, Cuaderno Estadistico Municipal 1994 | A4 | Original | 125 | 1995 | INEGI |
| 33 | Encuesta nacional de Empleo y Capacitacion en el Sector Turismo, INEGI Tomo I & Tomo II | A4 | Original | 610 | 1993 | INEGI |
| | Censo General de Poblacion y Vivienda, 1990 | | | | | |
| 34 | Quintana Roo | A4 | Original | 59 | 1990 | INEGI |
| 35 | Baja California Sur | A4 | Original | 72 | 1990 | INEGI |
| 36 | Guerrero | A4 | Original | 478 | 1990 | INEGI |
| 37 | Sinaloa | A4 | Original | 432 | 1990 | INEGI |
| 38 | El Sector Electrico | A4 | Original | 132 | 1993 | INEGI |

| | | | | | | | | |
|----|---|----|----------|-----|-------|--|--|-------------------|
| | Comision Nacional Del Agua | | | | | | | Comision Nacional |
| 39 | Informe 1989-1994 | A5 | Original | 185 | 1989 | | | Nacional |
| 40 | Agua Limpia 1991/1994 | A4 | Original | 57 | 1991 | | | Del |
| 41 | Politica Hidraulica 1989/1994 | A4 | Original | 55 | 1993 | | | Agua |
| | Environment | | | | | | | |
| 42 | Ley General del Equilibrio Ecologico y La Proteccion al Ambiente et.al, | A4 | Original | 682 | -1994 | | | 連邦法 |
| 43 | Programa Nacional para la Proteccion del Medio Ambiente 1990-1994 | B5 | Original | 66 | 1989 | | | SEDESOL |
| 44 | Informacion Basica Sobre las Areas Naturales Protegidas de Mexico | A5 | Original | 81 | 1999 | | | SEQUE |
| 45 | Informe de la Situacion General en Materia de Equilibrio Ecologico y Proteccion al Ambiente 1993-1994 | A4 | Original | 374 | 1994 | | | SEDESOL |
| 46 | Areas Naturales Protegidas de Mexico | A4 | Copy | 216 | 1993 | | | SEDESOL |
| 47 | Estrategia Institucional de Aprovechamiento y Conservacion Ambiental | A4 | Copy | 22 | 1993 | | | FORATUR |
| 48 | 1 環境基準 大気 | A4 | Copy | 64 | 1993 | | | SEDESOL |
| 2 | 大気モニタリング | A4 | Copy | 64 | 1993 | | | SEDESOL |
| 3 | 排水 | A4 | Copy | 128 | 1993 | | | SEDESOL |
| 4 | 有害廃棄物 | A4 | Copy | 96 | 1993 | | | SEDESOL |
| 5 | 騒音 | A4 | Copy | 52 | 1994 | | | SEDESOL |
| 6 | レッドデータブック 貴重な動植物 | A5 | Copy | 62 | 1994 | | | SEDESOL |
| 7 | 水基本法 | A4 | Copy | 44 | 1992 | | | 連邦政府 |
| 8 | 水資源の料金に係わる規則 | A5 | Copy | 51 | 1993 | | | 連邦政府 |
| 9 | 水基本法の細則 | A4 | Copy | 174 | 1993 | | | 連邦政府 |
| 49 | 1 アカプルコ市警察治安条例 | A4 | Copy | 5 | 1995 | | | アカプルコ市 |
| 2 | 生ゴミの汚染防止規則 | A4 | Copy | 15 | 1995 | | | アカプルコ市 |
| 3 | 環境影響評価規則 | A4 | Copy | 42 | 1995 | | | アカプルコ市 |
| 4 | 水源保護規則 | A4 | Copy | 13 | 1995 | | | アカプルコ市 |
| 5 | 市街地、郊外の緑地に関する規則 | A4 | Copy | 12 | 1995 | | | アカプルコ市 |
| 6 | グアレロ州の環境と森林の影響評価に関する規則 | A4 | Copy | 110 | 1994 | | | グアレロ州 |
| 7 | アカプルコ市の環境保全に関する細則 | A4 | Copy | 46 | 1991- | | | アカプルコ市 |
| 8 | グアレロ州の環境と森林の影響評価に関する規則の細則 | A5 | Copy | 46 | 1992 | | | グアレロ州 |

| | | | | | | |
|----|---|----|----------|-----|------|-------------------|
| 9 | アプルニ市の自然環境 | A4 | Copy | 18 | 1995 | 7カプルコ市 |
| 10 | アプルニ市の環境影響評価及び自然環境調査事例 | A4 | Copy | 58 | 1994 | 7カプルコ市 |
| 50 | 環境影響調査に係わる登録コンサルタントリスト | A4 | Original | 38 | 1995 | SEDESOL |
| | Local Government of Baja California Sur | | | | | |
| 51 | Plan Estatal de Desarrollo 1993-1999, Sector Turismo | A4 | Copy | 6 | 1992 | B.C.S. |
| 52 | Programa Estatal de turismo 1994-1999 Coordinación de | A4 | Copy | 71 | 1994 | B.C.S. |
| | Tourismo del Estado de B.C.S. | | | | | |
| 53 | Prestadores de Servicios Turísticos en el Estado de | A4 | Copy | 17 | 1995 | B.C.S. |
| | Baja California Sur | | | | | |
| 54 | Gobierno del Estado de Baja California Sur. Coordinación | A4 | Copy | 13 | 1994 | B.C.S. |
| | Estatal de Turismo. Indicadores Turísticos 1994 | | | | | |
| 55 | Plan de Desarrollo Económico para el Estado de Baja | A4 | Copy | 123 | | B.C.S. |
| | California Sur. Fase IV-Análisis de Sectores Económicos | | | | | |
| | Claves Vol-I | | | | | |
| 56 | Plan de Desarrollo Urbano, San Jose Del Cobo San Lucas | A0 | Copy | 7 | 1994 | B.C.S. |
| | Local Government of Guerrero and Acapulco Municipality | | | | | |
| 57 | Ley Organica del Municipio Libre No.364 y Su Prontuario | A5 | Copy | 115 | 1993 | Guerrero |
| 58 | Plan Director de Desarrollo Urbano del Centro de | A4 | Copy | 107 | 1994 | Guerrero |
| | Población de Acapulco de Juarez 1994 | | | | | |
| 59 | Reclamo Sobre Fraccionamiento de Terrenos para el | A4 | Copy | 37 | | Acapulco |
| | Municipio de Acapulco, Guerrero | | | | | |
| 60 | Reclamo de Construcciones para el Municipio de Acapulco, | A4 | Copy | 129 | | Acapulco |
| | Municipio de Acapulco, Guerrero | | | | | |
| 61 | メキシコ運輸事情、メキシコ日本大使館 | A4 | Copy | 55 | 1995 | 在メキシコ日本大使館 |
| | 通信運輸省 (Sectoria De Comunicaciones y Transportes) | | | | | |
| 62 | Manual Estadístico del Sector Transporte 1992 | A4 | Original | 271 | 1994 | SCT |
| 63 | Anuario Estadístico 1992 | A4 | Copy | 120 | 1992 | SCT |
| 64 | Sector Comunicaciones y Transportes Programa de Trabajo Para 1995 | A4 | Copy | 50 | 1995 | SCT |
| 65 | Autopistas Concesionadas 1994 | A4 | Original | 37 | 1994 | SCT |
| 66 | Caminos y Puentes Federales de Ingresos y Servicios Conexos | A4 | Original | 20 | 1994 | Caminos y Puentes |
| 67 | Resumen Estadístico de Autopistas de Cuota | A5 | Original | 99 | 1994 | SCT |
| 68 | Programa Nacional de Autopistas 1989-1994 | A3 | Original | 237 | 1994 | SCT |

| | | | | | | |
|----|--|----|----------|-----|------|-------------------|
| 69 | Programa Nacional Para La Modernizacion De La Infraestructura Carretera | A3 | Original | 149 | 1991 | SCT |
| 70 | Volumenes De Transito 1987 Red carretera Troncal | A3 | Original | 46 | 1987 | SCT |
| 71 | Datos Viales 1993 | A4 | Original | 705 | 1994 | SCT |
| 72 | Datos Estadisticos y Organigrama de F.N.M. | A4 | Copy | 13 | | FNM |
| 73 | Ferrocarriles Nacionales de Mexico 1994 | A0 | Original | 1 | 1994 | FNM |
| 74 | Catastro Portuario 1989 | A4 | Copy | 53 | | Puertos Mexicanos |
| 75 | Reporte Estadistico del Movimiento de Carga y Pasajeros en los Principales Puertos Enero-Marzo 1994-1995 | A4 | Copy | 34 | 1995 | Puertos Mexicanos |
| 76 | Movimiento de Carga y Buques 1991 | A4 | Copy | 43 | 1991 | SCT |
| 77 | Los Puertos Mexicanos | A4 | Copy | 53 | 1993 | Puertos Mexicanos |
| 78 | Puerto de Quintana Roo | A4 | Original | 8 | 1991 | Puertos Mexicanos |
| | Acapurco | A4 | Original | 8 | 1993 | Puertos Mexicanos |
| | Mazatlan | A4 | Original | 8 | 1990 | Puertos Mexicanos |
| | Puerto Vallarta | A4 | Original | 8 | 1991 | Puertos Mexicanos |
| 79 | Datos Estadisticos Sobre Transbordadores (Ferry) | A4 | Copy | 24 | 1995 | SCT |
| | Plan Maestro del Aeropuerto de Cancun 1984 | A4 | Copy | 49 | 1984 | SCT |
| 81 | Vallarta 1984 | A4 | Copy | 53 | 1984 | SCT |
| 82 | Bahias de Huatulco | A4 | Original | 71 | | SCT |
| 83 | Sistema Estadistico Aeroportuario 1994 | A4 | Original | 469 | 1994 | |
| 84 | Informacion sobre Autobuses de Pasajeros en 6 Sitios Turisticas | A4 | Copy | 6 | 1995 | SCT |
| 85 | Informacion sobre Autopista Cancun-Tulum, Muelle de Cozumel y Terminal de Autobuses en Cancun | A4 | Copy | 14 | 1995 | SCT |
| 86 | Datos Sobre Aeropuerto de Los Cabos y Carretera Costera del Golfo de California La Paz- Los Cabos | A4 | Copy | 7 | 1995 | SCT |
| | Guia Mexico Desconocido | | | | | |
| 87 | Parques Nacionales | A4 | Original | 95 | 1995 | Editorial |

| | | | | | |
|--|----|----------|-----|------|-----------|
| 88 Playas | A4 | Original | 109 | 1992 | Jilguero, |
| 89 Animales | A4 | Original | 93 | 1994 | SA DE CV |
| 90 El Mundo Maya | A4 | Original | 109 | 1992 | |
| Maps | | | | | |
| 91 Carta de Uso del Suelo y Vegetacion 1:1000000 | | | | | |
| Mexico | A0 | Original | 1 | 1981 | INEGI |
| Guadalajara | A0 | Original | 1 | 1981 | INEGI |
| La Paz | A0 | Original | 1 | 1981 | INEGI |
| Mazatlan 1:250000 | A0 | Original | 1 | 1988 | INEGI |
| Carta Geologica 1:1000000 | | | | | |
| Merida | A0 | Original | 1 | 1981 | INEGI |
| Guadalajara | A0 | Original | 1 | 1981 | INEGI |
| La Paz | A0 | Original | 1 | 1981 | INEGI |
| Cancun 1:250000 | A0 | Original | 1 | 1984 | INEGI |
| Carta Edafologica 1:250000 Cancun | A0 | Original | 1 | 1984 | INEGI |
| Carta Topografia | | | | | |
| 1:1,000,000 | | | | | |
| Merida | A0 | Original | 1 | 1991 | INEGI |
| La Paz | A0 | Original | 1 | 1992 | INEGI |
| 92 1:250,000 | | | | | |
| Cancun F-16-8 | A0 | Original | 1 | 1992 | INEGI |
| Corumel F16-11 | A0 | Original | 1 | 1982 | INEGI |
| San Jose Del Cabo F12-2-3-5-6 | A0 | Original | 1 | 1981 | INEGI |
| Acapulco E14-7-10 | A0 | Original | 1 | 1992 | INEGI |
| Zihuatanejo E14-7-10 | A0 | Original | 1 | 1982 | INEGI |
| Puerto Escondido D14-3 | A0 | Original | 1 | 1981 | INEGI |
| Mazatlan F13-1 | A0 | Copy | 1 | 1981 | INEGI |
| Puerto Vallarta F13-11 | A0 | Original | 1 | 1977 | INEGI |

| | | | | | | |
|-----------------------------|----|----------|---|------|--|-------|
| 931:50,000 | | | | | | |
| Cancun F16D14 | A0 | Copy | 1 | 1988 | | INEGI |
| Puerto Morelos F16D51 | A0 | Copy | 1 | 1987 | | INEGI |
| Akumal F16C79 | A0 | Copy | 1 | 1987 | | INEGI |
| Playa del Carmen F16C69 | A0 | Original | 1 | 1988 | | INEGI |
| Xel-Ha F16C78 | A0 | Original | 1 | 1986 | | INEGI |
| Tulum F16C88 | A0 | Original | 1 | 1986 | | INEGI |
| | | | | | | |
| San Jose Del Cabo F12B44 | A0 | Original | 1 | 1983 | | INEGI |
| Palo Escopeta F12B45 | A0 | Original | 1 | 1989 | | INEGI |
| Cabo San Lucas F12B54 | A0 | Original | 1 | 1989 | | INEGI |
| | | | | | | |
| Acapulco E14C57 | A0 | Original | 1 | 1991 | | INEGI |
| El Carrizal E14C56 | A0 | Original | 1 | 1992 | | INEGI |
| San Marcos E14C58 | A0 | Original | 1 | 1990 | | INEGI |
| | | | | | | |
| Mazatlan F13A45 | A0 | Original | 1 | 1989 | | INEGI |
| | | | | | | |
| Santa Maria Huatulco D14B19 | A0 | Original | 1 | 1994 | | INEGI |
| Coyuca D14B29 | A0 | Original | 1 | 1994 | | INEGI |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |